

本資料のうち、枠囲みの内容は、
営業秘密又は防護上の観点から
公開できません。

東海第二発電所 工事計画審査資料	
資料番号	補足-1 (改4)
提出年月日	平成30年10月2日

東海第二発電所
工事計画認可申請における本文及び添付書類
の作成要領について

平成30年10月
日本原子力発電株式会社

目次

- 1 工事計画認可申請における資料作成に当たっての基本的考え方
- 2 工事計画認可申請における要目表の作成要領
- 3 工事計画認可申請における基本設計方針の作成要領
- 4 工事計画認可申請に記載する適用基準及び適用規格について
- 5 工事計画認可申請に添付する添付書類の考え方について
- 6 工事計画認可申請における添付書類の作成要領
- 7 工事計画認可申請における添付図面の作成要領
- 8 共用設備の工認書類の扱いについて
- 9 参考資料
 - (1) 技術基準規則の新旧比較表
 - (2) 設置許可基準規則と技術基準規則の比較表

2 工事計画認可申請における要目表の作成要領

1. 目的

新規制基準対応設備のうち別表第二において設備別記載事項を記載する設備について、記載の統一及び一貫性を図ることを目的として要目表の作成要領を策定する。

なお、記載例については、別紙1に示す。

2. 具体的な要目表の作成方法

2.1 資料構成

(1) 要目表の資料構成は以下とする。

- a. 申請対象設備については、別表第二の記載順に記載する。
- b. 要目表記載対象設備は「申請範囲」※1により対象設備を明確化する。
- c. 要目表は、1設備につき1件とし、複数の設備（系統）区分※2の機能を有する設備であっても要目表は1件とする。

※1：今回の手続き対象外で「記載の適正化のみ」を行う設備は、「申請範囲」に手続き対象外である旨を記載する。

（例）〇〇ポンプ（手続き対象外）

※2：設備（系統）区分の記載について、設備名のみで対象が自明の場合は系統名を記載しなくても良い。（以下、各章においても同様。）

2.2 要目表の記載方法

(1) 施設に共通する記載

a. 共用について

(a) 東海第二発電所登録側の共用する設備の名称についての表記は以下とする。

要目表の記載方法		記載例
常設／ 可搬型	設備名称のあとに「(東海, 東海第二発電所共用)」を記載する。	△△ポンプ (東海, 東海第二発電所共用)

(b) 共用に関する記載ルールについて

「東海第二発電所登録側」に設備仕様一式を記載する。

b. 兼用について

(a) 複数の設備（系統）区分で兼用する設備の記載方針

①従前の規制より複数の設備（系統）区分の設計基準対象施設として使用しているもの（残留熱除去系ポンプ等）は、従前の規制手続きと同様に主たる機能に着目し、設計基準対象施設として「主たる設備（系統）区分」のみに記載する。

②新たな規制への対応のために複数の設備（系統）区分の設備として使用する以下のものは、「主となる設備（系統）区分」に加え「兼用先」にも記載する。

- ・既存の設計基準対象施設を他の設備（系統）区分の設計基準対象施設として新たに兼用するものは設計基準対象施設として「兼用先」に記載する。
- ・既存の設計基準対象施設を他の設備（系統）区分の重大事故等対処設備として新たに兼用するもの（ほう酸水注入ポンプ等）は重大事故等対処設備として「兼用先」に記載する。

（別紙1

記載例	1 / 14
-----	--------

）：①参照

- ・新たに追加設置した重大事故等対処設備を他の設備（系統）区分の重大事故等対処設備として兼用するもの（格納容器圧力逃がし装置、常設低圧代替注水ポンプ等）は重大事故等対処設備として「兼用先」に記載する。

（別紙1

記載例	2 / 14
-----	--------

）：①参照

(b) 複数の設備（系統）区分で兼用する設備の記載方法

①複数の設備（系統）区分の機能を持つ設備を他の設備（系統）区分の設備として兼用するものは、「主となる設備（系統）区分」に「兼用先」の設備別記載事項を追加し、注記を付記する。

②「兼用先」への記載は、文章にて「主となる設備（系統）区分」、「兼用すること」及び「設備（系統）名称」を記載する。

（別紙1

記載例	3 / 14
-----	--------

）：①参照

- ③「新たに登録する場合」の表記として、「本工事計画で」の文章を記載することで新たな登録であることを示す。

(別紙1 記載例 3 / 1 4) : ②参照)

- ④設備(系統)区分によって記載すべき仕様(揚程等)が異なるものについては、その異なる仕様を一つの要目表にまとめて記載する。この場合、複数の仕様が併記されるため、該当する仕様に注記を付記し、対応する設備(系統)区分が明確になるように記載する。

(別紙1 記載例 4 / 1 4) : ①参照)

(c) 「主となる設備(系統)区分」と「兼用先」の要目表の関連付け

- ①「主となる設備(系統)区分」には、「兼用先」の「設備(系統)区分」がわかるように、また「兼用先」には、「主となる設備(系統)区分」がわかるように記載し、互いの関連付けを行う。

記載は、「主となる設備(系統)区分」の名称欄に注記を付記し、「兼用先」の全ての設備(系統)区分を記載する。

これにより、「兼用先」同士の関連性が明らかになるため、「兼用先」では、「主となる設備(系統)区分」のみを記載する。

(別紙1 記載例 3 / 1 4) : ③参照)

- ②「主となる施設区分」と「兼用先」の施設区分が異なる場合は、「施設区分」も含んで記載し、「兼用先」が同一の施設である場合には、「施設区分」の記載は行わない。

(別紙1 記載例 2 / 1 4) : ②参照)

- ③「兼用する設備(系統)区分」については、別紙2の「要目表 兼用先一覧」に従い兼用先を設定する。

(d) 「主となる設備(系統)区分」と同じ機器区分(容器、管等)が兼用先がない場合

- ①「兼用先」では異なる機器区分となるが、要目表として記載できる場合は、別紙2「要目表 兼用先一覧表」の「兼用する施設・設備(系統)区分」に従い兼用先を設定し、要目表に記載する。

- ②「兼用先」で要目表として記載できる機器区分がない場合、要目表には記載せ

ず、兼用先の施設の基本設計方針の「兼用設備リスト」に設備名を記載する。

- (e) 情報提供系，サポート系（補機冷却系，換気空調系，電源系及び圧力逃がし装置の移送ポンプ及び配管）に関しては，施設区分の兼用はしない。

c. 変更前後の書き分け

- (a) 新たな規制への対応のため工事計画の手続きが必要となる設備（以下①～⑦に示す設備）の要目表については，必要な仕様を「変更後」に記載し「変更前」は「－」を記載する。

（別紙 1

記載例	5 / 1 4
-----	---------

）：①参照）

この際、既設の設備を変更後に記載する設備は、注記を付記し既設の設備である旨を記載する。この場合、注記を付記する位置については、設備全体が既設である場合は、原則代表して「名称」欄又は対象設備が複数の場合（例：火災区域構造物・火災区画構造物）は「変更後」欄に1か所、一部の仕様に変更等がある場合は該当する仕様個別に付記する。

（別紙 1

記載例	5 / 1 4
-----	---------

）：②参照）

- ①重大事故等対処設備として新たに追加設置した設備

（別紙 1

記載例	2 / 1 4
-----	---------

）：③参照）

- ②従前の規制では工事計画の手続き対象外であった既設設備を重大事故対処設備として新たに登録する設備又は新たに記載する仕様

- ③設計基準対処施設として新たに工事計画の手続き対象となった設備又は仕様

（別紙 1

記載例	5 / 1 4
-----	---------

）：③参照）

- ④既設の設計基準対象施設を重大事故等対処設備として新たに登録する際に機器クラス区分が変更となることで要求事項（継手仕様等）が追加された設備

- ⑤兼用設備として新たに登録する設備又は仕様

（別紙 1

記載例	1 / 1 4
-----	---------

）：②参照）

- ⑥既設の設計基準対象施設を重大事故等対処設備として使用する設備のうち、重大事故等対処設備としての使用条件（温度，圧力等）が設計基準対象施設としての設計条件を超える仕様

(別紙1 記載例 6 / 14) : ①参照

⑦改造工事を行う設備 (既工事計画書の本文記載事項の変更を伴うもの)

- (b) 従前の規制範囲内での記載の適正化を行う設備の仕様については、「変更前」に記載し「変更後」には「変更なし」を記載する。
- (c) 従前の規制範囲と整合させるために非主配管化する範囲については、「変更前」に既工事計画書の値を記載し、「変更後」を「-」とした上で、注記を付記し「記載の適正化を行う」旨を記載する。

(別紙1 記載例 7 / 14) : ①参照

- (d) 重大事故等対処設備として既設の設計基準対象施設を使用する設備については「変更前」に仕様を記載し、「変更後」に「変更なし」と記載する。この場合、当該設備がどちらの機能を有するかの識別は、基本設計方針の「主要設備リスト」で行う。

(別紙1 記載例 1 / 14) : ③参照

- (e) 今回の手続き対象外で「記載の適正化のみ」を行う設備は、「変更前」に仕様を記載し、「変更後」に「変更なし」と記載した上で、名称欄に注記を付記し「手続き対象外」である旨を記載する。

また、「申請範囲」に手続き対象外である旨を記載する。

(例) ○○ポンプ (手続き対象外)

- (f) 今回の手続きに関与しない設備については、要目表の記載の適正化は行わない。

- (g) 記載の適正化として「変更前」に記載する際に、建設時の工事計画書等を出典として記載する場合において、既工事計画書本文に記載がないため添付書類又は添付図面を出典とする場合は、その添付書類又は添付図面が添付されている既工事計画認可申請書の「認可年月日」、「認可番号」及び「添付書類又は添付図面の名称」を記載する。

既工事計画書の参考資料については、出典として使用しないこととする。

例：注記 *1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和○○年○○月○○日付け○○資庁第○○号にて認可された工事計画の○○による。

(別紙1 記載例 1 / 1 4) : ④参照)

- (h) 既工事計画書本文の記載事項の記載の適正化を行う場合は、これらの許認可情報は記載せず、「既工事計画書」の記載を注記に記載する。

例：注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「〇〇」と記載。

(別紙1 記載例 1 / 1 4) : ⑤参照)

- (i) 既工事計画書に設備自体の記載がないものを「変更前」に記載する場合は、「名称」欄又は「変更前」欄に注記を付記し、その設備仕様一式そのものが既工事計画書に記載がないことを示す。

(別紙1 記載例 8 / 1 4) : ①参照)

- (j) 既工事計画書に記載された主配管の「区間」において「〇〇ポンプから△△配管合流部まで」などと記載されている場合は「〇〇ポンプ～△△配管合流部」と記載を修正する。ただし、「区間」の範囲の見直しを伴わない修正である場合は注記を付記しない。

例：〇〇ポンプから△△配管合流部まで
↓
〇〇ポンプ～△△配管合流部

- (k) 工事計画書に記載のある機器等を廃止手続きする際の記載については、「変更後」に、「撤去」または「廃止」を記載する。なお、改造にあたって別表第一対象外のポンプは変更後に「-」を記し、注記を付記する。

- ・「撤去」と記載する場合：今回の申請において機器等の撤去を行うもの。
- ・「廃止」と記載する場合：今回の申請においては、機器等の撤去は行わず、廃止手続きを行うもの。

(別紙1 記載例 9 / 1 4) : ①参照)

(別紙1 記載例 1 0 / 1 4) : ①参照)

- (l) 別表第一に該当する取替対象設備については、「変更後」に取替えを実施する旨を注記に記載する。

(別紙1 記載例 1 1 / 1 4) : ①参照)

d. 同じ設備区分で同一機器を異なる用途で仕様する場合の記載について

計測制御系統施設の原子炉非常停止信号及び工学的安全施設等の起動信号に記載される検出器のように、異なる用途に対し同一の検出器を使用する場合は兼用とはならないが、使用する全ての用途が明確となるよう、注記を付記し、互いの関連付けを行う。

(別紙1

記載例	12 / 14
-----	---------

 : ①参照)

e. 重大事故等対処設備としての使用時における値について

- (a) 既設の設計基準対象施設を重大事故等対処設備として使用する設備のうち、重大事故等対処設備としての使用条件(温度, 圧力)が設計基準対象施設としての設計条件を超える設備については、その超える部分の仕様を「変更後」に記載する。この際、上段を設計基準対象施設としての値、下段を重大事故等対処設備としての使用時における値とし、注記を付記して「重大事故等時における使用時の値」である旨を記載する。

(別紙1

記載例	6 / 14
-----	--------

 : ②参照)

- (b) 重大事故等対処設備としてのみ使用する設備については、「最高使用圧力」及び「最高使用温度」(ポンプ等については「容量」, 「揚程」も含む)の項目欄に注記を付して「重大事故等時における使用時の値」である旨を記載する。また、既設の設計基準対象施設を重大事故等対処設備として新たに登録する際に、機器クラス区分が変更になることで、記載が追加された管継手についても重大事故等対処設備としてのみ使用する設備として、「最高使用圧力」及び「最高使用温度」の項目欄に注記を付して「重大事故等時における使用時の値」である旨を記載する。

(別紙1

記載例	2 / 14
-----	--------

 : ④参照)

(別紙1

記載例	4 / 14
-----	--------

 : ②参照)

f. 設計確認値

- (a) ポンプ, 熱交換器, 容器等の容量, 熱交換器等の伝熱面積及びJ I S配管を除く配管等の厚さについては「設計確認値」及び「公称値」を記載する。ただし、設計図書等にて「設計確認値」が明記されていない場合は、「公称値」と同一値を記載する。

また、従来、「設計確認値」のみを記載していたものについては、原則、同一の値を「公称値」として記載する。

ただし、安全弁・逃がし弁のリフト量, 主要弁の弁箱厚さ及び弁蓋厚さ等の機器仕様上の最小値を記載している場合は「設計確認値」のみ記載する。

(別紙 1

記載例 1 / 1 4

 : ⑥参照)

- (b) 「設計確認値」及び「公称値」を併記する場合は、「設計確認値」の後に括弧を付して「公称値」を記載し、注記を付して「公称値」である旨を記載する。

(別紙 1

記載例 1 / 1 4

 : ⑥参照)

g. 材料記号の記載

- (a) J I S 規格に基づく材料記号の記載（施設時の J I S 規格に基づく材料記号を記載する。）

- ①設備の施設以降に、J I S 規格改定により材料記号が変更されたものであっても、今回の申請において施設時の J I S 材料記号を記載する。
- ②既設設備の一部に最新の J I S 規格が使用されたものは、今回の申請において施設時の J I S 材料記号と最新の J I S 材料記号をそれぞれ記載する。

- (b) J I S 規格以外を使用する材料記号の記載

- ①企業のプライベート規格を使用している一般産業品については、使用している材料を総称する一般名を記載する。

h. 個数

- (a) 可搬型設備のうち技術基準規則上、予備を必要とする設備については、括弧外に必要な数を記載し、括弧内に予備数を併記する。

(別紙 1

記載例 4 / 1 4

 : ③参照)

なお、可搬型の主配管については、後述の「(2) 個別設備の記載, b. 個別事項 (配管), (c) 可搬型主配管」に示す。

i. 取付箇所

- (a) 常設設備（可搬型設備のうち一部常設箇所を有する設備を含む。）の取付箇所については「系統名 (ライン名)」、「設置床」、「溢水防護上の区画番号」及び「溢水防護上の配慮が必要な高さ」を記載する。

- ①「属する系統の機能の独立性」の確認のため、要目表へ「系統名 (ライン名)」を記載し、「系統図」との関連付けを行う。ポンプ A, B や弁 A, B, C 等の複数機器を 1 件の要目表に記載する場合には、その機器毎に「系統名 (ライン名)」を記載する。なお、系統に接続されない機器 (クレーン等) は「-」とする。
(詳細は別紙 3 参照)

- ②「位置的分散」の確認のため、要目表へ「設置床」を記載し、「配置図」との

関連付けを行う。記載欄には「建屋名称」及び機器等の「設置床レベル」を記載する。

(詳細は別紙3参照)

- ③「発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書」の「防護対象設備リスト」及び「防護区画図面」との関連付けを行うため、要目表へ「溢水防護上の区画番号」を記載する。新規要求事項であるため「変更後」の欄に記載する。なお、溢水防護の対象設備以外の機器は「-」とする。

(詳細は別紙3参照)

- ④溢水防護上の配慮が必要となる機器等について、その機器が設置される区画のうち、機能喪失高さが最も低いものを選定した上で、裕度を設定して要目表へ「溢水防護上の配慮が必要な高さ」として記載する。新規要求事項であるため「変更後」の欄に記載する。なお、溢水防護の対象設備以外の機器は「-」とする。

(詳細は別紙3参照)

- (b) 可搬型設備の取付箇所については、「保管場所」及び「取付箇所」を記載する。

- ①屋外の可搬型設備の「保管場所」は、保管場所の設置床高さ及び保管場所が特定可能な記載とする。この場合、移動可能な設備であることを考慮し設置床高さには「約」を付記する。なお、設置床高さの表記方法については、設置変更許可申請書に準じる。

(別紙1

記載例	4 / 14
-----	--------

 : ④参照)

- ②屋外の可搬型設備の「取付箇所」は、取付箇所の設置床高さ及び取付箇所が特定可能な記載とする。

(別紙1

記載例	4 / 14
-----	--------

 : ⑤参照)

- ③可搬型設備のうち一部常設箇所を有する設備については、一部常設箇所の「溢水防護上の配慮が必要な高さ」を記載し、その旨が分かるよう注記を付記する。

- ④可搬型ホースについて、複数の敷設ルートがある場合には、敷設距離が最長となるルートについて注記で記載する。また、複数の長さのホースを組み合わせで使用する場合は、その内訳を注記で記載する。

(詳細は別紙4参照)

j. S I 単位換算

- (a) 既工事計画書に記載がある設備のうち、S I 単位で記載されていないものについては、S I 単位に換算した値を「変更前」に記載し、注記を付して「S I 単位に換算した」旨を記載する。

(別紙 1 記載例 7 / 1 4 : ②参照)

k. 使用前検査未完了の工事

- (a) 新規制施行前に工事の計画の認可又は届出した工事のうち、使用前検査に合格していないもので、今回の一体工事として手続きするものについては、「基本設計方針の変更の工事」として扱う。この場合、「変更前」に認可又は届出後の仕様を記載し、注記で基本設計方針の変更である旨の記載を行う。

例：届出した工事

注記 *1：記載内容は、既工事計画書（平成〇〇年〇〇月〇〇日付け原発本第〇〇〇号工事計画届出書）による。なお、本工事計画書は、届け出した工事計画に対して基本設計方針の変更を行うことに伴い申請するものである。

- (b) 今回の一体工事として手続きしないものについては、別途、「工事計画」の「変更認可申請」、「変更届出」等の手続きを行う。そのため、これらに係る設備のうち今回の一体工事の手続きとして必要となるものは、要目表の「変更前」部分に「既に認可を受けた」工事計画の「変更前」の部分を記載するものとする。その場合において注記は記載しない。

l. 防護上の配慮が必要な設備

- (a) 耐震基準変更に伴う耐震 S クラス設備、共振の影響を受ける耐震 B クラス設備、溢水防護上の配慮が必要となる防護対象設備、竜巻、火山又は外部火災等における防護対象であって別表第二の要目表対象設備の場合は、基準変更対応としての手続き対象設備として要目表に記載する。

m. 機能及び使用方法が同じ設備を複数台保有する場合の名称

- (a) 再循環系ポンプや逃がし安全弁等、機能及び使用方法が同じ設備を複数保有する場合の名称は、「A」、「B」、「C」等の個体識別を記載せず、設備名称のみ記載する。

(例) 保有設備「再循環系ポンプ A, B」

↓

要目表記載名称「再循環系ポンプ」

- (b) 弁については弁番号で記載することとし、個体識別を付記した設備名称を記載する。なお、機能及び使用方法が同じ設備についてはまとめて記載する。

(例) 要目表記載名称「E12-F017A, B」

- n. 竜巻、内部溢水評価等の制約により分散配置を必要とする設備については、要目表の取付箇所（保管場所）欄に分散して保管する旨を記載する。（可搬型代替注水中型ポンプ等）

(2) 個別設備の記載

a. 個別事項（機器）

- (a) 工学的安全施設等の作動設定値において、既設の検出器を重大事故等対処設備として兼用し、ロジック回路のみ新たに構成する場合については、「変更前」を「－」とし、「変更後」に設備仕様を記載する。この場合、検出器は既設であること及び原子炉非常停止信号の検出器と兼用であることを注記する。

- (b) 非常用電源設備以外のポンプ車等に付属するポンプ駆動用の燃料タンク（車付タンク）については、補機駆動用燃料設備に記載する。また、ディーゼル機関を駆動源とする消火ポンプの燃料タンクも同様とする。

- (c) 「別表第二」記載事項のうち計測制御系統施設及び放射線管理施設に記載されている「警報装置を有する場合は、その動作範囲を付記すること。」については、設計基準対象施設、重大事故等対処設備ともに技術基準規則で要求されている計測装置のみ適用し、警報動作を適用しない設備については、「－」とする。なお、既工事計画書の記載の適正化を行う場合は、注記を付記して、警報動作を適用しない旨を記載する。

(別紙 1

記載例	13 / 14
-----	---------

 : ①参照)

- (d) 中央制御室及び緊急時対策所の居住性評価において考慮する生体遮蔽装置について

中央制御室及び緊急時対策所の居住性評価において解析上遮蔽として考慮する壁等については、「中央制御室遮蔽」、「中央制御室待避室遮蔽」、「二次遮蔽」又は「緊急時対策所遮蔽」として記載する。

b. 個別事項（配管）

(a) 要目表名称

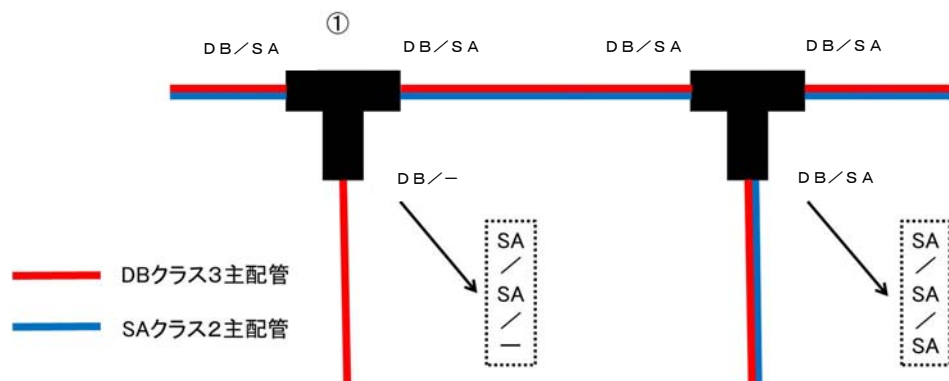
主配管については用途、使用範囲等の明確化のため、以下の範囲で名称を細分化する。

- ①設計基準対象施設のみ境界
- ②重大事故等対処設備のみ境界
- ③重大事故等対処設備として既設の設計基準対象施設を使用するもので、設計基準対象施設としての仕様から変更がない境界
- ④重大事故等対処設備として既設の設計基準対象施設を使用するもので、設計基準対象施設としての仕様から変更がある境界
- ⑤兼用設備の境界
- ⑥耐震重要度分類Sクラスの境界
- ⑦主配管と非主配管の境界

(b) 管継手

①既設の設計基準対象施設を重大事故等対処設備として新たに登録する際に、機器クラス区分が変更になることで、記載が追加された管継手は「変更前」を「-」とし、「変更後」に管継手の仕様を記載し、注記で「既設」である旨を記載する。

また、上記のうち「T継手」については、重大事故等時に使用する流路に対して仕様を記載する。即ち、T継手の分岐部が設計基準対象施設上は主配管であっても、当該分岐部が重大事故等時に使用しない流路である場合は、当該T継手の分岐部は「-」とする。



②既設の設計基準対象施設のクラス2配管の管継手に関しては、既工事計画書に記載されていないもので新規制においても主配管に該当する場合は、記載の適正化として「変更前」に管継手を追記し、その旨を注記で記載する。

③管にエルボを含む場合は、その厚さが配管と同等以上である旨を注記で記載する。

(c) 可搬型主配管

①可搬型主配管のうち、可搬型ホースについては、接続する箇所が分かるような名称にするとともに、ホース1本当たりの長さを名称へ記載する。

(例) ○○ライン△△用□□ m ホース

(別紙1 記載例 14 / 14) : ①参照

②外径が記載できない可搬型主配管の外径については、呼び径を記載し、その旨を注記する。

(別紙1 記載例 14 / 14) : ②参照

③厚さが記載できない可搬型主配管の厚さは「—」を記載し、その旨を注記する。

注記 *1: メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(別紙1 記載例 14 / 14) : ③参照

・非常用発電装置の常設ホースの記載は、以下とする。

注記 *1: メーカー仕様によるものとし、「発電用火力設備に関する技術基準を定める省令」に基づき、規定の圧力まで昇圧した後、適切な時間保持したとき、これに耐え、また規定の圧力で点検を行ったとき、漏えいがないものを使用する。

④可搬型主配管の「個数」、「取付箇所」欄の記載について

可搬型主配管の「個数」欄及び「取付箇所」欄への記載方法を、別紙4に示す。なお、詳細な個数の内訳は「設備別記載事項の設定根拠に関する説明書」に記載する。

要目表 作成例

4 ほう酸水注入設備に係る次の事項

②の例

4.1 ほう酸水注入系

(1) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

			変更前	変更後		
名 称			ほう酸水注入ポンプ*1	ほう酸水注入ポンプ*2		
ポンプ	種 類	—	往復形*3			
	容 量	m ³ /h/個	9.78 以上 (9.78*4, *5)			
	吐 出 圧 力 *6	MPa	8.5 以上*6 (8.5*4, *6)			
	最 高 使 用 圧 力	MPa	吸込側 1.04*7 吐出側 9.66*7			
	最 高 使 用 温 度	℃	66*7			
	主 要 寸 法	吸 込 内 径	mm	65.9*4, *7		
		吐 出 内 径	mm	38.4*4, *7		
		ケーシング厚さ	mm	<input type="text" value=""/> (11.8*4, *7)		
		た て 横	mm	1820*4, *8		
		高 さ	mm	2100*4, *8		
	材 料	ケーシング*9	—	<input type="text" value=""/>		
		ケーシングカバー	—	<input type="text" value=""/>		
	個 数		—	2*10		
	取 付 箇 所	系 統 名 (ライン名)	—	ほう酸水注入ポンプ A ほう酸水注入系*7	ほう酸水注入ポンプ B ほう酸水注入系*7	
設 置 床		—	原子炉建屋 原子炉棟 EL. 38.80 m*7	原子炉建屋 原子炉棟 EL. 38.80 m*7		
溢水防護上の 区画番号		—	—			
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—			
				RB-5-3	RB-5-3	
				EL. 39.26 m 以上	EL. 39.26 m 以上	

①の例

⑥の例

変更なし

③の例

(続き)

			変更前	変更後
原 動 機	種 類	—	誘導電動機*11	変更なし
	出 力	kW/個	37	
	個 数	—	2	
	取 付 箇 所	—	ポンプと同じ*7	

注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ポンプ」と記載。

*2：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(ほう酸水注入系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(ほう酸水注入系)と兼用する。

*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「水平3連プランジヤポンプ」と記載。記載内容は、設計図書による。

*4：公称値を示す。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「163 l/min」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全揚程 870 m」と記載。

*7：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*8：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和50年11月7日付け50資庁第11107号にて認可された工事計画の添付図面「第3-18図 ほう酸水注入系ポンプ組立外形図」による。

*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「接液部」と記載。

*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「2(常用1, 予備1)」と記載。

*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「3相誘導電動機」と記載。

①の例

⑥の例

⑤の例

④の例

6.7 低圧代替注水系

③の例

(1) ポンプの名称，種類，容量，揚程，又は吐出圧力，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料，個数及び取付箇所並びに原動機の種類，出力，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

			変更前	変更後
名 称			—	常設低圧代替注水系ポンプ*1
種 類	—	ターボ形		
容 量*2	m ³ /h/個	189 以上*3		
		150 以上*4		
		80 以上*5		
		50 以上*6		
		70 以上*7		
		180 以上*8		
揚 程*2	m	190 以上*9		
		147 以上*10		
		(200*11)		
		105.9 以上*3		
		121.2 以上*4		
		109.1 以上*5		
最高使用圧力*2	MPa	65.8 以上*6		
		109.7 以上*7		
最高使用温度*2	℃	145.4 以上*8		
		129.8 以上*9		
主 要 寸 法	吸 込 内 径	mm	112.6 以上*10	
	吐 出 内 径	mm	(200*11)	
	ケーシング厚さ	mm	吸込側 静水頭	
	た て	mm	吐出側 3.14	
	横	mm	66	
	高 さ	mm	199.9*11	
	材 料	ケーシング	—	151.0*11
	ケーシング	—	(55.0*11)	
	カバー	—	860*11	
			2291*11	
			1520*11	

④の例

①の例

(続き)

			変 更 前	変 更 後	
ポ ン プ	個	数	—	2	
	取 付 箇 所	系 統 名 (ライン名)	—	常設低圧代替 注水系ポンプ A 低圧代替注水 系	常設低圧代替 注水系ポンプ B 低圧代替注水系
		設 置 床	—	常設低圧代替 注水系ポンプ室 EL. -18.50 m	常設低圧代替 注水系ポンプ室 EL. -18.50 m
	所	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—	—
		溢水防護上の 配慮が必要な 高 さ	—		
原 動 機	種 類	—	誘導電動機		
	出 力	kW/個	190*11		
	個 数	—	2		
	取 付 箇 所	—	ポンプと同じ		

- 注記
- *1: 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）、原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系、格納容器下部注水系及び低圧代替注水系）並びに核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（代替燃料プール注水系）と兼用。
- *2: 重大事故等時における使用時の値を示す。
- *3: 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）並びに格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（代替格納容器安全設備（低圧代替注水系）として使用する場合は②の例）として使用する場合は④の例の値を示す。
- *4: 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）として使用する場合は④の例の値を示す。
- *5: 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）として使用する場合は④の例の値を示す。
- *6: 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（代替燃料プール注水系のうち使用済燃料プール注水モード）として使用する場合は④の例の値を示す。
- *7: 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（代替燃料プール注水系のうち使用済燃料プールスプレイモード）として使用する場合は④の例の値を示す。

- *8：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）を同時に使用する場合は値を示す。
- *9：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）並びに（格納容器下部注水系）を同時に使用する場合は値を示す。
- *10：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）、原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）並びに核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（代替燃料プール注水系）を同時に使用する場合は値を示す。
- *11：公称値を示す。

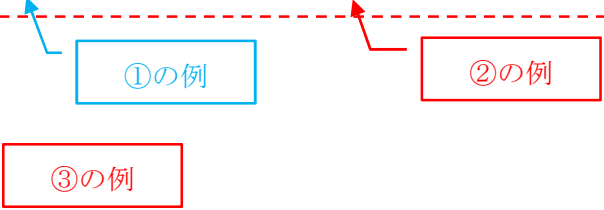
6.9 代替水源供給設備

- (1) ポンプの名称，種類，容量，揚程又は吐出圧力，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料，個数及び取付箇所並びに原動機の種類，出力，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

以下の設備は、非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）であり、非常用炉心冷却設備その他の原子炉注水設備（代替水源供給設備）として本工事計画で兼用とする。

・可搬型

- 可搬型代替注水大型ポンプ
- 可搬型代替注水中型ポンプ



・可搬型

			変更前	変更後	
名称				可搬型代替注水大型ポンプ*1	
ポンプ	種類	—		うず巻形	
	容量*2	m ³ /h/個	②の例	110 以上*3 196 以上*4, *5 50 以上*6 70 以上*7, *8 1338 以上*9 130 以上*10 80 以上*11 (1320*12, 1380*13)	
	揚程*2	m	—	130 以上*3, *10 59 以上*4, *6 53 以上*4 106 以上*7 140 以上*8 125 以上*9 121 以上*11 (140*12, 135*13)	
	最高使用圧力*2	MPa		1.4	
	最高使用温度*2	℃		60	
	主要寸法	吸込口径	mm		300*12
		吐出口径	mm		250*12
		たて	mm		1050*12
		横	mm		1280*12
		高さ	mm		525*12
車両全長		mm		11920*12	
車両全幅		mm		2490*12	
車両高さ	mm		3470*12		
材料	ケーシング	—		ダクタイル鋳鉄	

(続き)

			変更前	変更後	③の例
ポンプ	個数	—	—	3 (予備 2)	保管場所： ・可搬型重大事故等対処設備保管場所（西側） EL. 約 23 m ・可搬型重大事故等対処設備保管場所（南側） EL. 約 25 m ・可搬型重大事故等対処設備予備機置場 EL. 約 8 m 上記 3 箇所のうち、可搬型重大事故等対処設備保管場所（西側）及び可搬型重大事故等対処設備保管場所（南側）にそれぞれ 1 台以上、合計 3 台以上保管するとともに、残り 2 台を 3 箇所のうちいずれかに保管する。
	取付箇所	—		⑤の例	
原動機	種類	—	—	ディーゼル機関	
	出力	kW/個		847	
	個数	—		3 (予備 2)	
	取付箇所	—		ポンプと同じ	

注記 *1：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（代替水源供給設備）、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（代替燃料プール注水系、原子炉建屋放水設備及び代替水源供給設備）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ系、格納容器下部注水系、低圧代替注水系、原子炉建屋放水設備及び代替

*2：重大事故等時における使用時の値を示す。

*3：本系統及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他安全設備の原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）で使用する場合の値を示す。

*4：本系統、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備

(代替燃料プール注水系) 及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (代替格納容器スプレイ冷却系) を同時に実施する場合の値を示す。

- *5 : 非常用炉心冷却設備その他の原子炉注水設備 (代替水源供給設備), 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系 (代替水源供給設備) 又は原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (代替水源供給設備) として使用する場合の値を示す。
- *6 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系 (代替燃料プール注水系) における燃料プール注水として使用する場合の値を示す。
- *7 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系 (代替燃料プール注水系) における常設スプレイヘッドによる燃料プールのスプレイとして使用する場合の値を示す。
- *8 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系 (代替燃料プール注水系) における可搬型ノズルによる燃料プールのスプレイとして使用する場合の値を示す。
- *9 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系 (原子炉建屋放水設備) 又は原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備 (原子炉建屋放水設備) として使用する場合の値を示す。
- *10 : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (代替格納容器スプレイ冷却系) として使用する場合の値を示す。
- *11 : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (格納容器下部注水系) として使用する場合の値を示す。
- *12 : 公称値を示す。
- *13 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 (原子炉建屋放水設備) 及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他安全設備の原子炉格納容器安全設備 (原子炉建屋放水設備) として使用する場合の公称値を示す。
- *14 : 本系統並びに非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (代替水源供給設備), 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 (代替燃料プール注水系, 原子炉建屋放水設備及び代替水源供給設備) 及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (代替格納容器スプレイ系, 格納容器下部注水系, 低圧代替注水系, 原子炉建屋放水設備及び代替水源供給設備) として使用する場合を示す。
- *15 : 本系統並びに非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (代替水源供給設備), 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 (代替燃料プール注水系及び代替水源供給設備) 及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (代替格納容器スプレイ系, 格納容器下部注水系, 低圧代替注水系及び代替水源供給設備) として使用する場合を示す。

			変更前	変更後
名称				ろ過水貯蔵タンク*1
種類	類	—		たて置円筒形
容量	量	m ³ /個		1500 以上 (1500*2)
最高使用圧力		MPa		静水頭
最高使用温度		℃		50
主要寸法	胴内径	mm		13560*2
	胴板厚さ	mm		6.0 (6.0*2)
				8.0 (8.0*2)
				9.0 (9.0*2)
	屋根板厚さ	mm		4.0 (4.5*2)
	底板厚さ	mm		12.0 (12.0*2)
	出口管台外径	mm		318.5*2
	出口管台厚さ	mm		17.4*2
	側マンホール管台外径	mm		628.0*2
	側マンホール管台厚さ	mm		8.4 (9.0*2)
側マンホールふた厚さ	mm		15.3 (16.0*2)	
高さ	mm			13262*2
				SS400
材料	胴板	—		SS400
	屋根板	—		SS400
	底板	—		SS400
	側マンホールふた	—		SS400
個数		—		1
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ろ過水貯蔵タンク 消火系
	設置床	—		屋外 EL. 11.00 m
	溢水防護上の 区画番号	—		—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		—

注記 *1: 本設備は既存の設備である。

*2: 公称値を示す。

②の例

①の例

③の例

ロ 原子炉格納容器スタビライザの名称, 種類, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数

			変更前	変更後
名 称			スタビライザ (しゃへい壁～格納容器間)	変更なし
種 類	—		鋼管式	②の例
最 高 使 用 温 度	℃		171	
主 要 寸 法	管 外 径	mm	355.6 ^{*2}	変更なし ①の例
	管 厚 さ ^{*3}	mm	35.7 ^{*4} (35.7 ^{*2})	
	ガセツトプレート厚 さ	mm	50.0 ^{*5} (50.0 ^{*2, *5})	
	内側マイルシアラグ厚 さ	mm	130.0 ^{*5} (130.0 ^{*2, *5})	
材 料	管	—	STKS1B	変更なし
	ガセツトプレート	—	SM41B ^{*5}	
	内側マイルシアラグ	—	SGV480 相当 (ASME SA-516 Gr. 70) ^{*5}	
個 数	—		16	

注記 *1: 重大事故等時における使用時の値を示す。

*2: 公称値を示す。

*3: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「肉厚」と記載。

*4: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 昭和50年10月6日付け50資庁第8314号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-2-22 スタビライザの強度計算書」による。

*5: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

4.6 主蒸気隔離弁漏えい抑制系

(8) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変 更 前						変 更 後							
名 称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径* ² (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
主 蒸 気 隔 離 弁 漏 え い 抑 制 系	外側主蒸気隔離弁漏えい水処理配管	*8 弁 B22-F028 ～ 低圧マニホールド B 入口配管分岐点 ～ サプレッション・ チェンバ	8.62* ¹	②の例 302	60.5* ³	8.7* ^{2, *3}	STPT49* ³	主 蒸 気 隔 離 弁 漏 え い 抑 制 系	-	-	-	-	-
					61.1* ^{3, *4} /61.1* ^{3, *4} /-	10.9* ^{3, *5} /10.9* ^{3, *5} /-	S25C* ³						
					60.5	8.7* ²	STPT42						
					61.1* ^{3, *4}	10.9* ^{3, *5}	S25C* ³						
					61.1* ^{3, *4} /61.1* ^{3, *4} /61.1* ^{3, *4}	10.9* ^{3, *5} /10.9* ^{3, *5} /10.9* ^{3, *5}	S25C* ³						
					114.3	8.6* ^{2, *6}	STPT42						
					91* ³	(15.0* ^{2, *3}))	S30C* ³						
					114.3* ³ /114.3* ³ /-	8.6* ^{2, *3} /8.6* ^{2, *3} /-	STPT42* ³						
					89.1	7.6* ²	STPT42						
					主 蒸 気 隔 離 弁 漏 え い 抑 制 系	*10 低圧マニホールド B 入口配管分岐点 ～ 弁 E32-F002 (E, F, G, H)	8.62* ¹						
61.1* ^{3, *4} /34.5* ^{3, *4}	10.9* ^{3, *5} /8.0* ^{3, *5}	S25C* ³											
34.0	6.4* ²	STPT42											
34.5* ^{3, *4} /34.5* ^{3, *4} /-	8.0* ^{3, *5} /8.0* ^{3, *5} /-	S25C* ³											
34.5* ^{3, *4}	8.0* ^{3, *5}	S25C* ³											
34.5* ^{3, *4}	8.0* ^{3, *5}	S25C* ³											

変更なし

*9

①の例

変更なし

(続き)

変 更 前							変 更 後					
名 称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*2 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
主 蒸 気 隔 離 弁 漏 え い 抑 制 系	主 蒸 気 隔 離 弁 外 側 漏 え い 水 処 理 配 管	*7 弁 B22-F028 と 弁 B22-F098 間の 主蒸気管 ～ 低圧マニホールド A 入口配管分岐点 ～ サプレッション・ チェンバ	8.62*1	302	60.5	8.7*2	STPT42	主 蒸 気 隔 離 弁 漏 え い 抑 制 系	8.62*1	302	変更なし	—*9
					61.1*3,*4 /61.1*3,*4 /—	10.9*3,*5 /10.9*3,*5 /—	S25C*3					
					61.1*3,*4	10.9*3,*5	S25C*3					
					61.1*3,*4 /61.1*3,*4 /61.1*3,*4	10.9*3,*5 /10.9*3,*5 /10.9*3,*5	S25C*3					
					114.3	8.6*2,*6	STPT42					
					91*3	(15.0*2,*3)	S30C*3					
					114.3*3 /114.3*3 /—	8.6*2,*3 /8.6*2,*3 /—	STPT42*3					
					89.1	7.6*2	STPT42					
い	*10 低圧マニホールド A 入口配管分岐点 ～ 弁 E32-F002 (A, B, C, D)	8.62*1	302	60.5	8.7*2	STPT42	い	8.62*1	302	変更なし	—*9	
				61.1*3,*4 /34.5*3,*4	10.9*3,*5 /8.0*3,*5	S25C*3						
				34.0	6.4*2	STPT42						
				34.5*3,*4	8.0*3,*5	S25C*3						
				34.5*3,*4 /34.5*3,*4 /—	8.0*3,*5 /8.0*3,*5 /—	S25C*3						

注記 *1: S I 単位に換算したもの。

②の例

*2: 公称値を示す。

*3: 既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

*4: 差込み継手の差込み部内径を示す。

*5: 差込み継手の最小厚さを示す。

*6: エルボにあつては、管と同等以上の厚さのものを選定。

*7: 記載の適正化を行う。既工事計画には「主蒸気隔離弁と主蒸気隔離弁漏洩抑制系止め弁間の主蒸気管よりサプレッションチェンバまで」と記載。

*8: 記載の適正化を行う。既工事計画には「原子炉格納容器外側主蒸気隔離弁よりサプレッションチェンバまで」と記載。

*9: 当該ラインについては、主配管に該当しないため、記載の適正化を行う。

①の例

*10: 記載の適正化を行う。既工事計画には「上記配管より低圧マニホールド及びベントスタックまで」と記載。

(2) 機器搬出入口の名称, 主要寸法及び個数

①の例

			変更前	変更後
名称			原子炉建屋大物搬入口 ^{*1}	変更なし
主要寸法	た て × 横	mm	5400×4900 ^{*1, *2}	
個	数	—	1 ^{*1}	

注記 *1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：公称値を示す。

①の例

(2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力（真空ポンプにあっては到達真空度）、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数並びに原動機の種類、出力及び個数

			変更前	変更後	
名 称			廃液フィルタ保持ポンプ		
ポ ン プ	種 類	—	うず巻形*1		
	容 量	m ³ /h/個	<input type="text"/>	(26.2*3)	
	揚 程*4	m	<input type="text"/>	(21.6*3)	
	最 高 使 用 圧 力	MPa	1.32*5		
	最 高 使 用 温 度	℃	100*5		
	主 要 寸 法	吸 込 内 径	mm	80*3, *6	
		吐 出 内 径	mm	80*3, *6	
		た て	mm	105*3, *6	
		横	mm	525*3, *6	
	高 さ	mm	380*3, *6		
材 料	ケ ー シ ン グ*7	—	FC25		
個 数	—	2			
原 動 機	種 類	—	誘導電動機*8		
	出 力	kW/個	5.5*3		
	個 数	—	2		

撤去

① の例

- 注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「横軸単段うず巻ポンプ」と記載。
- *2：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *3：公称値を示す。
- *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全揚程」と記載。
- *5：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年6月4日付け49資庁第4363号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-2-2 液体固体廃棄物処理施設の耐震性についての計算書」のうち、「Ⅲ-2-2-1 設計条件」による。
- *6：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年6月4日付け49資庁第4363号にて認可された工事計画の添付図面「第3-27図 ポンプ外形図組立断面図（横軸型ポンプその3）」による。
- *7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「三相誘導電動機」と記載。

			変更前	変更後	
名 称			廃液フィルタ保持ポンプ		
ポンプ	種 類	—	うず巻形*1		
	容 量	m ³ /h/個	<input type="text"/>	(26.2*3)	
	揚 程*4	m	<input type="text"/>	(21.6*3)	
	最 高 使 用 圧 力	MPa	1.32*5		
	最 高 使 用 温 度	℃	100*5		
	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	80*3, *6	
		吐 出 口 径	mm	80*3, *6	
		た て	mm	105*3, *6	
		横	mm	525*3, *6	
	材 料	ケ ー シ ン グ*7	—	FC25	
個 数		—	2		
原 動 機	種 類	—	誘導電動機*8		
	出 力	kW/個	5.5		
	個 数	—	2		

—*9

①の例

- 注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「横軸単段うず巻ポンプ」と記載。
- *2：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *3：公称値を示す。
- *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全揚程」と記載。
- *5：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年6月4日付け49資庁第4363号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-2-2 液体固体廃棄物処理施設の耐震性についての計算書」のうち、「Ⅲ-2-2-1 設計条件」による。
- *6：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年6月4日付け49資庁第4363号にて認可された工事計画の添付図面「第3-27図 ポンプ外形図組立断面図（横軸型ポンプその3）」による。
- *7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「三相誘導電動機」と記載。
- *9：撤去対象設備であるため記載を削除する。

①の例

3 遮断器に係る次の事項

(1) 遮断器の種類, 電圧, 電流, 遮断電流, 遮断時間, 個数及び取付箇所

		変更前	変更後 ^{*6}
名称		線路用 275kV 遮断器 ^{*1}	変更なし
種類	—	屋内用空気しゃ断器	ガス遮断器
電圧	kV ^{*2}	300	変更なし
電流	A	4000	変更なし
遮断電流 ^{*3}	kA ^{*4}	31.5 ^{*4}	50
遮断時間 ^{*5}	サイクル ^{*5}	2 ^{*5}	変更なし
個数	—	2	変更なし
取付箇所	系統名 (ライン名)	線路用 275kV 遮断器	変更なし
	設置床	275kV 超高压開閉所 EL. 8.20 m ^{*5}	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—

注記 *1: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「線路用 275KVしゃ断器」と記載。

*2: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「KV」と記載。

*3: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「しゃ断容量」と記載。

*4: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「15,000MVA」と記載。記載内容は設計図書による。

*5: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

*6: 線路用 275kV 遮断器については取替えを実施する。

①の例

7.5 低圧炉心スプレイ系
・常設

変更前							変更後								
工学的安全施設等の起動信号の種類*1	検出器の種類	個数	取付箇所		工学的安全施設等の起動に要する信号の個数*2	設定値	工学的安全施設等の起動信号を発信させない条件*3	工学的安全施設等の起動信号の種類	検出器の種類	個数	取付箇所		工学的安全施設等の起動に要する信号の個数	設定値	工学的安全施設等の起動信号を発信させない条件
ドライウェル圧力高	格納容器圧力検出器*4、*12	2	系統名 (ライン名)	-	2*11	13.7 kPa 以下*6、*7	-	変更なし	変更なし	2	変更なし		変更なし	-	-
			設置床	EL. 20.30 m*5							溢水防護上の 区画番号	RB-3-1			
原子炉水位異常低下 (レベル1)*8	原子炉水位検出器*9、*13	2	系統名 (ライン名)	-	2*11	960 cm以上 (原子炉圧力容器零レベルより)*10	-	変更なし	変更なし	2	変更なし		変更なし	961 cm以上 (原子炉圧力容器零レベルより)	変更なし
			設置床	EL. 20.30 m*5							溢水防護上の 区画番号	RB-3-1			
											溢水防護上の 配慮が必要な高さ	EL. 20.30 m 以上			

- 注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「安全保護系起動信号の種類」と記載。
 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「安全保護系起動に要する個数」と記載。
 *3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「安全保護系起動バイパス条件」と記載。
 *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「圧力検出器」と記載。
 *5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
 *6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「0.14 kg/cm²g」と記載。
 *7：S I 単位に換算したもの。
 *8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉水位異常低」と記載。
 *9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「差圧検出器」と記載。
 *10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「960 cm (原子炉圧力容器零レベルより)」と記載。
 *11：低圧炉心スプレイ系の作動回路は各検出器2個ずつの計4個の検出器からなる並列の論理回路で構成され、最低2個の検出器が同時に動作すれば、低圧炉心スプレイ系起動となる。
 *12：本検出器は、工学的安全施設等の起動信号のうち残留熱除去系及び自動減圧系の「ドライウェル圧力高」として使用する検出器と同じである。
 *13：本検出器は、工学的安全施設等の起動信号のうち残留熱除去系、自動減圧系及び過渡時自動減圧機能の「原子炉水位異常低下 (レベル1)」として使用する検出器と同じである。

ロ 原子炉格納容器本体内の放射性物質濃度を計測する装置の名称，検出器の種類，計測範囲，取付箇所（常設及び可搬型の別を記載し，監視・記録の場所を付記すること。）及び個数

・常設

		変更前		変更後	
名	称	格納容器雰囲気放射線 モニタ (D/W) *1	格納容器雰囲気放射線 モニタ (S/C) *1	変更なし	
検出器の種類	—	電離箱		変更なし	
計測範囲	Sv/h	$10^{-2} \sim 10^5$ *2		①の例	
警報動作範囲	Sv/h	$10^{-2} \sim 10^5$ *3		— *4	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		変更なし	
	設置床	原子炉建屋原子炉棟 EL. 20.30 m (監視・記録は中央制御室) *5	原子炉建屋原子炉棟 EL. 2.00 m (監視・記録は中央制御室) *5	変更なし	
	溢水防護上の 区画番号	—		RB-3-5*6 RB-3-6*7	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		EL. 20.70 m 以上	—
個数	—	2*8	2*8	変更なし	

- 注記
- *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器モニタ」と記載。
 - *2：S I 単位に換算したもの。
 - *3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「計測範囲内で可変」と記載。
 - *4：警報動作が要求される検出器ではないため、記載の適正化を行う。
 - *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウエル及びサプレッションチェンバ（監視記録部は中央制御室）」と記載。
 - *6：対象計器は RE-D23-N003B
 - *7：対象計器は RE-D23-N003A
 - *8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「4」と記載。

①の例

ヌ 主配管（スプレイヘッドを含む。）の名称，最高使用圧力，最高使用温度，外径，厚さ及び材料（常設及び可搬型の別に記載し，可搬型の場合は，個数及び取付箇所を付記すること。）

・可搬型

変 更 前								変 更 後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
原子炉建屋放水設備	-							原子炉建屋放水設備	1.4*2	60*2	300 A*3	-*4	ポリウレタン，ポリエステル	58*5 (予備 4)	保管場所： ・可搬型重大事故等対処設備保管場所（西側）EL. 約 23 m ・可搬型重大事故等対処設備保管場所（南側）EL. 約 25 m 上記 2 箇所のどちらか 1 箇所に 58 本及び予備 4 本以上保管する。 取付箇所： 〔・屋外 EL. 約 8 m 可搬型代替注水大型ポンプ～屋外 EL. 約 8 m 放水砲 (58 本*6)〕
								放水砲*1, 50 m ホース*1	1.0*2	60*2	216.3*8	8.2*8	SUS304TP	1 (予備 1)	保管場所： ・可搬型重大事故等対処設備保管場所（西側）EL. 約 23 m, ・可搬型重大事故等対処設備保管場所（南側）EL. 約 25 m 上記 2 箇所にそれぞれ 1 個保管する。 取付箇所： 〔・屋外 EL. 約 8 m 原子炉建屋周辺 (1 個)〕
								放水砲*1, *7			220*8	-*4	CAC406		
											318.5*8	10.3*8	SUS304TP		

注記 *1：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（原子炉建屋放水設備）と兼用する。
 *2：重大事故等時における使用時の値を示す。
 *3：メーカーにて規定する呼び径を示す。
 *4：メーカー仕様によるものとし，完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって，使用材料の特性を踏まえた上で，重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
 *5：必要本数 58 本（5 m：20 本，50 m：38 本）及び予備各 2 本の数量を示す。
 *6：最長ルートである「可搬型代替注水大型ポンプ（SA 用海水ピット付近）から放水砲（原子炉建屋南側）」に敷設した場合（5 m：20 本，50 m：38 本）の本数を示す。
 *7：放水砲寸法（公称値）：たて 4680 mm，横 1920 mm，高さ 2140 mm
 *8：公称値を示す。

要目表 兼用先一覧

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分					兼用する登録区分									
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
炉心シュラウド	1 原子炉本体	2 炉心	(5) 炉心支持構造物	イ 炉心シュラウド及びシュラウドサポート	-	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	-	-	3.11(3.5.1 残留熱除去系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.1 高压炉心スプレイ系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.2 低压炉心スプレイ系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.3 原子炉隔離時冷却系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.4 低压注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.5 ほう酸水注入系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.6 高压代替注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.7 低压代替注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.8 代替循環冷却系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									4 計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	-	-	4.10(4.4.1 ほう酸水注入系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.4 ほう酸水注入系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.6 代替循環冷却系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.9 高压代替注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.10 低压代替注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)									

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分					兼用する登録区分									
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
シュラウドサポート	1 原子炉本体	2 炉心	(5) 炉心支持構造物	イ 炉心シュラウド及びシュラウドサポート	-	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	-	-	3.11(3.5.1 残留熱除去系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.1 高压炉心スプレイ系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.2 低压炉心スプレイ系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.3 原子炉隔離時冷却系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.4 低压注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.5 ほう酸水注入系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.6 高压代替注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.7 低压代替注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.8 代替循環冷却系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									4 計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	-	-	4.10(4.4.1 ほう酸水注入系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.4 ほう酸水注入系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.6 代替循環冷却系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.9 高压代替注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)									
7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.10 低压代替注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)									

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
上部格子板	1 原子炉本体	2 炉心	(5) 炉心支持構造物	ロ 上部格子板	-	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	-	-	3.11(3.5.1 残留熱除去系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.1 高压炉心スプレイ系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.2 低压炉心スプレイ系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.3 原子炉隔離時冷却系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.4 低压注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.5 ほう酸水注入系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.6 高压代替注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.7 低压代替注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.8 代替循環冷却系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									4 計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	-	-	4.10(4.4.1 ほう酸水注入系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.4 ほう酸水注入系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.6 代替循環冷却系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.9 高压代替注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)									
7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.10 低压代替注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)									

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
炉心支持板	1 原子炉本体	2 炉心	(5) 炉心支持構造物	ハ 炉心支持板	-	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	-	-	3.11(3.5.1 残留熱除去系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.1 高压炉心スプレイ系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.2 低压炉心スプレイ系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.3 原子炉隔離時冷却系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.4 低压注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.5 ほう酸水注入系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.6 高压代替注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.7 低压代替注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.8 代替循環冷却系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									4 計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	-	-	4.10(4.4.1 ほう酸水注入系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.4 ほう酸水注入系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.6 代替循環冷却系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)
7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.9 高压代替注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)									
7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.10 低压代替注水系)	- (炉心形状維持として基本設計方針に記載)									

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
中央燃料支持金具	1 原子炉本体	2 炉心	(5) 炉心支持構造物	ニ 燃料支持金具	-	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	-	-	3.11(3.5.1 残留熱除去系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.1 高压炉心スプレイ系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.2 低压炉心スプレイ系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.3 原子炉隔離時冷却系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.4 低压注水系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.5 ほう酸水注入系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.6 高压代替注水系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.7 低压代替注水系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.8 代替循環冷却系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									4 計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	-	-	4.10(4.4.1 ほう酸水注入系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.4 ほう酸水注入系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.6 代替循環冷却系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.9 高压代替注水系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.10 低压代替注水系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)									

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
周辺燃料支持金具	1 原子炉本体	2 炉心	(5) 炉心支持構造物	ニ 燃料支持金具	-	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	-	-	3.11(3.5.1 残留熱除去系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.1 高压炉心スプレイ系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.2 低压炉心スプレイ系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.3 原子炉隔離時冷却系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.4 低压注水系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.5 ほう酸水注入系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.6 高压代替注水系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.7 低压代替注水系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.8 代替循環冷却系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									4 計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	-	-	4.10(4.4.1 ほう酸水注入系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.4 ほう酸水注入系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.6 代替循環冷却系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.9 高压代替注水系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)									
7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.10 低压代替注水系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)									

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
制御棒案内管	1 原子炉本体	2 炉心	(5) 炉心支持構造物	ホ 制御棒案内管	-	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	-	-	3.11(3.5.1 残留熱除去系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.1 高压炉心スプレイ系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.2 低压炉心スプレイ系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.3 原子炉隔離時冷却系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.4 低压注水系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.5 ほう酸水注入系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.6 高压代替注水系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.7 低压代替注水系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.8 代替循環冷却系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									4 計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	-	-	4.10(4.4.1 ほう酸水注入系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.4 ほう酸水注入系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.6 代替循環冷却系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)
7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.9 高压代替注水系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)									
7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.10 低压代替注水系)	(炉心形状維持として基本設計方針に記載)									

要目表 (機器) 兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項 (全項目)	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
原子炉压力容器	1 原子炉本体	4 原子炉压力容器	(1) 原子炉压力容器本体	-	-	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 監視試験片の種類 初装荷個数 取付箇所	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 監視試験片の種類 初装荷個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	-	-	3.11(3.5.1 残留熱除去系)	(注水先として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.1 高压炉心スプレイ系)	(注水先として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.2 低压炉心スプレイ系)	(注水先として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.3 原子炉隔離時冷却系)	(注水先として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.4 低压注水系)	(注水先として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.5 ほう酸水注入系)	(注水先として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.6 高压代替注水系)	(注水先として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.7 低压代替注水系)	(注水先として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.8 代替循環冷却系)	(注水先として基本設計方針に記載)
									4 計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	-	-	4.10(4.4.1 ほう酸水注入系)	(注水先として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.4 ほう酸水注入系)	(注水先として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.6 代替循環冷却系)	(注水先として基本設計方針に記載)
7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.9 高压代替注水系)	(注水先として基本設計方針に記載)									
7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.10 低压代替注水系)	(注水先として基本設計方針に記載)									

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
差圧検出・ほう酸水注入管 （ティーよりN10ノズルまでの外管）	1 原子炉本体	4 原子炉圧力容器	(3) 原子炉圧力容器付属構造物	チ 差圧検出・ほう酸水注入配管	-	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.5 ほう酸水注入系)	- (流路として基本設計方針に記載)
									4 計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	-	-	-	4.10(4.4.1 ほう酸水注入系)	- (流路として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.4 ほう酸水注入系)	- (流路として基本設計方針に記載)
ジェットポンプ	1 原子炉本体	4 原子炉圧力容器	(4) 原子炉圧力容器内部構造物	ニ ジェットポンプ	-	-	名称 種類 主要寸法 材料 個数	名称 種類 主要寸法 材料 個数	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	-	-	3.11(3.5.1 残留熱除去系)	- (流路として基本設計方針に記載)
高圧炉心スプレイスパージャ	1 原子炉本体	4 原子炉圧力容器	(4) 原子炉圧力容器内部構造物	ホ スパージャ及び内部配管	-	-	名称 種類 主要寸法 材料 個数	名称 種類 主要寸法 材料 個数	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.1 高圧炉心スプレイ系)	- (流路として基本設計方針に記載)
低圧炉心スプレイスパージャ	1 原子炉本体	4 原子炉圧力容器	(4) 原子炉圧力容器内部構造物	ホ スパージャ及び内部配管	-	-	名称 種類 主要寸法 材料 個数	名称 種類 主要寸法 材料 個数	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.2 低圧炉心スプレイ系)	- (流路として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.7 低圧代替注水系)	- (流路として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.10 低圧代替注水系)	- (流路として基本設計方針に記載)
残留熱除去系配管（原子炉圧力容器内部）	1 原子炉本体	4 原子炉圧力容器	(4) 原子炉圧力容器内部構造物	ホ スパージャ及び内部配管	-	-	名称 種類 主要寸法 材料 個数	名称 種類 主要寸法 材料 個数	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.4 低圧注水系)	- (流路として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.7 低圧代替注水系)	- (流路として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.8 代替循環冷却系)	- (流路として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.6 代替循環冷却系)	- (流路として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.10 低圧代替注水系)	- (流路として基本設計方針に記載)

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分							
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	
高圧炉心スプレイ配管（原子炉圧力容器内部）	1 原子炉本体	4 原子炉圧力容器	(4) 原子炉圧力容器内部構造物	ホ スパー ジャ及び内部配管	—	—	名称 種類 主要寸法 材料 個数	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	—	—	—	3.11(3.6.1 高圧炉心スプレイ系)	— (流路として基本設計方針に記載)
低圧炉心スプレイ配管（原子炉圧力容器内部）	1 原子炉本体	4 原子炉圧力容器	(4) 原子炉圧力容器内部構造物	ホ スパー ジャ及び内部配管	—	—	名称 種類 主要寸法 材料 個数	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	—	—	—	3.11(3.6.2 低圧炉心スプレイ系)	— (流路として基本設計方針に記載)
								3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	—	—	—	3.11(3.6.7 低圧代替注水系)	— (流路として基本設計方針に記載)
								7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	—	—	7.4(7.3.6.10 低圧代替注水系)	— (流路として基本設計方針に記載)
差圧検出・ほう酸水注入管（原子炉圧力容器内部）	1 原子炉本体	4 原子炉圧力容器	(4) 原子炉圧力容器内部構造物	ホ スパー ジャ及び内部配管	—	—	名称 種類 主要寸法 材料 個数	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	—	—	—	3.11(3.6.5 ほう酸水注入系)	— (流路として基本設計方針に記載)
								4 計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	—	—	—	4.10(4.4.1 ほう酸水注入系)	— (流路として基本設計方針に記載)
								7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	—	—	7.4(7.3.6.4 ほう酸水注入系)	— (流路として基本設計方針に記載)
使用済燃料プール	2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	3 新燃料貯蔵設備	(1) 使用済燃料貯蔵槽	—	—	—	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数	2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	—	—	—	2.4(2.4.2 代替燃料プール注水系)	— (注水先として基本設計方針に記載)
								2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	—	—	—	2.4(2.4.3 代替燃料プール冷却系)	— (注水先として基本設計方針に記載)
使用済燃料貯蔵ラック	2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	3 新燃料貯蔵設備	(3) 使用済燃料貯蔵ラック	—	—	—	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数	2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	—	—	—	2.4(2.4.2 代替燃料プール注水系)	— (注水先として基本設計方針に記載)
								2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	—	—	—	2.4(2.4.3 代替燃料プール冷却系)	— (注水先として基本設計方針に記載)
スキマサージタンク	2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(5) スキマサージ槽	—	—	2.4.1 燃料プール冷却浄化系	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数	2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(5) スキマサージ槽	—	—	2.4.3 代替燃料プール冷却系	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数
自動減圧機能用アキュムレータ	3 原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(3) 容器	—	—	3.4.1 主蒸気系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	4 計測制御系統施設	8 制御用空気設備	—	—	—	4.10(4.8.2 非常用窒素供給系)	— (流路として基本設計方針に記載)

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分									
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項			
残留熱除去系熱交換器	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(2) 熱交換器	—	—	3. 5. 1 残留熱除去系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 伝熱面積 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 伝熱面積 主要寸法 材料 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	—	—	—	3. 11(3. 6. 4 低圧注水系)	— (熱交換器機能として基本設計方針に記載)	
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	—	—	—	3. 11(3. 6. 8 代替循環冷却系)	— (熱交換器機能として基本設計方針に記載)	
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ろ器	熱交換器	—	7. 3. 6. 2 格納容器スプレイ冷却系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 伝熱面積 主要寸法 材料 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ろ器	熱交換器	—	7. 3. 6. 3 サプレッション・プール冷却系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 伝熱面積 主要寸法 材料 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ろ器	熱交換器	—	7. 3. 6. 6 代替循環冷却系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 伝熱面積 主要寸法 材料 個数 取付箇所

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
残留熱除去系ポンプA, B	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(3) ポンプ	-	-	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ	-	-	3.6.4 低圧注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	-	-	-	3.11 (3.6.8 代替循環冷却系)	- (流路として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ	-	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ	-	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4 (7.3.6.6 代替循環冷却系)	- (流路として基本設計方針に記載)
残留熱除去系ポンプC	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(3) ポンプ	-	-	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ	-	-	3.6.4 低圧注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所

要目表 (機器) 兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分									
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項 (全項目)	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項			
残留熱除去系ストレーナA, B	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(5) ろ過装置	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(4) ろ過装置	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(4) ろ過装置	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ト	ろ過装置	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ト	ろ過装置	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ト	ろ過装置	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
残留熱除去系ストレーナC	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(5) ろ過装置	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(4) ろ過装置	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
E12-F025A, B	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(6) 安全弁及び逃がし弁	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(5) 安全弁及び逃がし弁	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(5) 安全弁及び逃がし弁	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	チ 安全弁及び逃がし弁	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	チ 安全弁及び逃がし弁	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
E12-F025C	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(6) 安全弁及び逃がし弁	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(5) 安全弁及び逃がし弁	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(5) 安全弁及び逃がし弁	—	—	3.6.7 低圧代替注水系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	チ 安全弁及び逃がし弁	—	7.3.6.10 低圧代替注水系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
高圧炉心スプレイ系ストレー	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備	(4) ろ過装置	—	—	3.6.1 高圧炉心スプレイ系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(4) ろ過装置	—	—	3.6.6 高圧代替注水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
ナ		その他原子炉注水設備	置			レイ系	最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	トろ過装置	—	7.3.6.9 高压代替注水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
E21-F018	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(5) 安全弁及び逃がし弁	—	—	3.6.2 低圧炉心スプレイ系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(5) 安全弁及び逃がし弁	—	—	3.6.7 低圧代替注水系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	チ安全弁及び逃がし弁	—	7.3.6.10 低圧代替注水系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
常設高圧代替注水系ポンプ	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ	—	—	3.6.6 高圧代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ	—	7.3.6.9 高圧代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
常設低圧代替注水系ポンプ	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ	—	—	3.6.7 低圧代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(2) ポンプ	—	—	2.4.2 代替燃料プール注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ	—	7.3.6.5 代替格納容器スプレイ冷却系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ	—	7.3.6.7 格納容器下部注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ	—	7.3.6.10 低圧代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分					兼用する登録区分									
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
可搬型代替注水大型ポンプ (次頁へ続く)	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ	-	-	3.6.7 低圧代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(2) ポンプ	-	-	2.4.2 代替燃料プール注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(2) ポンプ	-	-	2.4.4 原子炉建屋放水設備	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(2) ポンプ	-	-	2.4.5 代替水源供給設備	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(3) ポンプ	-	-	3.5.2 格納容器圧力逃がし装置	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(3) ポンプ	-	-	3.5.4 代替水源供給設備	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
(前頁からの続き)	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ	-	-	3.6.7 低压代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ	-	-	3.6.9 代替水源供給設備	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
7 原子炉格納施設									3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ	-	7.3.6.5 代替格納容器 スプレイ冷却系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	
7 原子炉格納施設									3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ	-	7.3.6.7 格納容器下部注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	
7 原子炉格納施設									3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ	-	7.3.6.10 低压代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	
7 原子炉格納施設									3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ	-	7.3.6.11 原子炉建屋放水設備	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	
(次頁へ続く)															

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
(前頁からの続き)	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ	-	-	3.6.7 低圧代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ	-	7.3.6.12 代替水源供給設備	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
							7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	-	-	7.4(7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置)	- (ポンプ機能として基本設計方針に記載)		
							7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	-	-	7.4(7.3.9.2 代替水源供給設備)	- (ポンプ機能として基本設計方針に記載)		

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分					兼用する登録区分									
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
可搬型代替注水中型ポンプ (次頁へ続く)	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ	-	-	3.6.7 低圧代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(2) ポンプ	-	-	2.4.2 代替燃料プール注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(2) ポンプ	-	-	2.4.5 代替水源供給設備	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(3) ポンプ	-	-	3.5.2 格納容器圧力逃がし装置	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(3) ポンプ	-	-	3.5.4 代替水源供給設備	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ	-	-	3.6.9 代替水源供給設備	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分					兼用する登録区分									
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
(前頁からの続き)	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ	-	-	3.6.7 低圧代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ	-	7.3.6.5 代替格納容器スプレイ冷却系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ	-	7.3.6.7 格納容器下部注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ	-	7.3.6.10 低圧代替注水系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ	-	7.3.6.12 代替水源供給設備	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	-	-	7.4(7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置)	- (ポンプ機能として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	-	-	7.4(7.3.9.2 代替水源供給設備)	- (ポンプ機能として基本設計方針に記載)

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分					兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	
代替淡水貯槽	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(3) 貯蔵槽	—	—	3.6.7 低压代替注水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(4) 貯蔵槽	—	—	2.4.2 代替燃料プール注水系	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数
								2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(4) 貯蔵槽	—	—	2.4.5 代替水源供給設備	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数
								3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(3) 貯蔵槽	—	—	3.6.9 代替水源供給設備	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数 取付箇所
								3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	—	—	—	3.11(3.5.2 格納容器 圧力逃がし装置)	— (貯蔵槽として基本設計 方針に記載)
								3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	—	—	—	3.11(3.5.4 代替水源 供給設備)	— (貯蔵槽として基本設計 方針に記載)
								7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	∧ 貯蔵槽	—	7.3.6.5 代替格納容器 スプレー冷却系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数
								7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	∧ 貯蔵槽	—	7.3.6.7 格納容器下部注水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数
								7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	∧ 貯蔵槽	—	7.3.6.10 低压代替注水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数
								7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	∧ 貯蔵槽	—	7.3.6.12 代替水源供給設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数
								7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	—	—	7.4(7.3.9.1 格納容器 圧力逃がし装置)	— (貯蔵槽として基本設計 方針に記載)
7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	—	—	7.4(7.3.9.2 代替水源 供給設備)	— (貯蔵槽として基本設計 方針に記載)								

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分					兼用する登録区分																
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項									
西側淡水貯水設備	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(3)	貯蔵槽	—	—	3.6.7 低压代替注水系	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	2	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(4)	貯蔵槽	—	—	2.4.2	代替燃料プール注水系	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数	
											2	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(4)	貯蔵槽	—	—	2.4.5	代替水源供給設備	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数	
											3	原子炉冷却系統施設	6	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(3)	貯蔵槽	—	—	3.6.9	代替水源供給設備	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数 取付箇所	
											3	原子炉冷却系統施設	5	残留熱除去設備	—	—	—	—	3.11(3.5.2)	格納容器圧力逃がし装置	— (貯蔵槽として基本設計方針に記載)	
											3	原子炉冷却系統施設	5	残留熱除去設備	—	—	—	—	3.11(3.5.4)	代替水源供給設備	— (貯蔵槽として基本設計方針に記載)	
											7	原子炉格納施設	3	圧力低減設備 その他の安全設備	(6)	原子炉格納容器安全設備	へ	貯蔵槽	—	7.3.6.5	代替格納容器スプレイ冷却系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数
											7	原子炉格納施設	3	圧力低減設備 その他の安全設備	(6)	原子炉格納容器安全設備	へ	貯蔵槽	—	7.3.6.7	格納容器下部注水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数
											7	原子炉格納施設	3	圧力低減設備 その他の安全設備	(6)	原子炉格納容器安全設備	へ	貯蔵槽	—	7.3.6.10	低压代替注水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数
											7	原子炉格納施設	3	圧力低減設備 その他の安全設備	(6)	原子炉格納容器安全設備	へ	貯蔵槽	—	7.3.6.12	代替水源供給設備	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数
											7	原子炉格納施設	3	圧力低減設備 その他の安全設備	(9)	圧力逃がし装置	—	—	—	7.4(7.3.9.1)	格納容器圧力逃がし装置	— (貯蔵槽として基本設計方針に記載)
7	原子炉格納施設	3	圧力低減設備 その他の安全設備	(9)	圧力逃がし装置	—	—	—	7.4(7.3.9.2)	代替水源供給設備	— (貯蔵槽として基本設計方針に記載)											

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分				系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分				系統名	設備別記載事項
代替循環冷却系ポンプ	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
原子炉隔離時冷却系ポンプ	3 原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(1) ポンプ	—	—	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ	—	—	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
ほう酸水注入ポンプ	4 計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	(1) ポンプ	—	—	4.4.1 ほう酸水注入系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(1) ポンプ	—	—	3.6.5 ほう酸水注入系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ハ ポンプ	—	7.3.6.4 ほう酸水注入系	名称 種類 容量 揚程又は吐出圧力 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所 原動機の種類 出力 個数 取付箇所

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
ほう酸水貯蔵タンク	4 計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	(2) 容器	—	—	4.4.1 ほう酸水注入系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(2) 容器	—	—	3.6.5 ほう酸水注入系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ホ 容器	—	7.3.6.4 ほう酸水注入系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所
C41-F029A, B	4 計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	(3) 安全弁及び逃がし弁	—	—	4.4.1 ほう酸水注入系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(5) 安全弁及び逃がし弁	—	—	3.6.5 ほう酸水注入系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	チ 安全弁及び逃がし弁	—	7.3.6.4 ほう酸水注入系	名称 種類 吹出圧力 吹出量 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分								兼用する登録区分							
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）		施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
格納容器床ドレンサンプ	5 放射性廃棄物の廃棄施設	2 気体、液体又は固体廃棄物処理設備	(7) 貯蔵槽	—	—	5.2.2.2 床ドレン処理系	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数 漏えい防止のための制御方法	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 漏えい防止のための制御方法	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	へ 貯蔵槽	—	7.3.6.8 ベデスタル排水系	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数	
非常用ガス処理系排気筒	5 放射性廃棄物の廃棄施設	2 気体、液体又は固体廃棄物処理設備	(16) 排気筒	—	—	5.2.4 その他（排気筒）	名称 種類 主要寸法 材料 個数	名称 種類 主要寸法 材料 個数	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	—	—	—	3.11(3.5.3 耐圧強化ベント系)	— (流路として基本設計方針に記載)	
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	—	—	7.4(7.3.7.1.2 非常用ガス処理系)	— (流路として基本設計方針に記載)	
キャスク搬出入用出入口	5 放射性廃棄物の廃棄施設	3 堰その他の設備	(2) 原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰	—	—	5.3.1 その他（堰）	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所 床面及び壁面の塗装の範囲及び材料	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所 床面及び壁面の塗装の範囲及び材料	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	—	—	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所	
サイトバンカトラックエリア出入口	5 放射性廃棄物の廃棄施設	3 堰その他の設備	(2) 原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰	—	—	5.3.1 その他（堰）	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所 床面及び壁面の塗装の範囲及び材料	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所 床面及び壁面の塗装の範囲及び材料	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	—	—	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所	

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分								兼用する登録区分							
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）		施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
廃棄物処理建屋機器搬出入用出入口	5 放射性廃棄物の廃棄施設	3 堰その他の設備	(2) 原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰	—	—	5.3.1 その他（堰）	名称 主要寸法 材料 取付箇所 床面及び壁面の塗装の範囲及び材料	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所 床面及び壁面の塗装の範囲及び材料	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	—	—	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所	
雑固体ドラム搬出入用出入口	5 放射性廃棄物の廃棄施設	3 堰その他の設備	(2) 原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰	—	—	5.3.1 その他（堰）	名称 主要寸法 材料 取付箇所 床面及び壁面の塗装の範囲及び材料	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所 床面及び壁面の塗装の範囲及び材料	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	—	—	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所	
ドラム搬入室出入口	5 放射性廃棄物の廃棄施設	3 堰その他の設備	(2) 原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰	—	—	5.3.1 その他（堰）	名称 主要寸法 材料 取付箇所 床面及び壁面の塗装の範囲及び材料	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所 床面及び壁面の塗装の範囲及び材料	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	—	—	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所	
廃棄物処理建屋出入口	5 放射性廃棄物の廃棄施設	3 堰その他の設備	(2) 原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰	—	—	5.3.1 その他（堰）	名称 主要寸法 材料 取付箇所 床面及び壁面の塗装の範囲及び材料	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所 床面及び壁面の塗装の範囲及び材料	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	—	—	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所	

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分		系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分		系統名	設備別記載事項				
焼却設備機器搬出入用出入口	5 放射性廃棄物の廃棄施設	3 堰その他の設備	(2) 原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰	—	—	5.3.1 その他（堰）	名称 主要寸法 材料 取付箇所 床面及び壁面の塗装の範囲及び材料	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所 床面及び壁面の塗装の範囲及び材料	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	—	—	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
原子炉格納容器	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(1) 原子炉格納容器本体	-	-	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 設計漏えい率 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 設計漏えい率 主要寸法 材料 個数	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	-	-	3.11(3.5.1 残留熱除去系)	- (注水先として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	-	-	3.11(3.5.2 格納容器圧力逃がし装置)	- (排出元として基本設計方針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	-	-	3.11(3.5.3 耐圧強化ベント系)	- (排出元として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.6.3.2 格納容器スプレイ冷却系)	- (注水先として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系)	- (注水先として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.6.3.5 代替格納容器スプレイ冷却系)	- (注水先として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.6 代替循環冷却系)	- (注水先として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	-	-	7.4(7.3.6.7 格納容器下部注水系)	- (注水先として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	-	-	7.4(7.3.7.5 窒素ガス代替注入系)	- (注入先として基本設計方針に記載)
7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	-	-	7.4(7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置)	- (排出元として基本設計方針に記載)									

要目表 (機器) 兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項 (全項目)	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
原子炉格納容器 (サブプレッ ション・チェンバ) (次頁へ続く)	7 原子炉格納施設	1 原子炉格 納容器	(1) 原子炉 格納容器本 体	-	-	-	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 設計漏えい率 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 設計漏えい率 主要寸法 材料 個数	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	-	-	-	3.11(3.5.1 残留熱除 去系)	- (水源として基本設計方 針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉 心冷却設備 その他原子 炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.1 高圧炉心 スプレイ系)	- (水源として基本設計方 針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉 心冷却設備 その他原子 炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.2 低圧炉心 スプレイ系)	- (水源として基本設計方 針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉 心冷却設備 その他原子 炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.3 原子炉隔 離時冷却系)	- (水源として基本設計方 針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉 心冷却設備 その他原子 炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.4 低圧注水 系)	- (水源として基本設計方 針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉 心冷却設備 その他原子 炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.6 高圧代替 注水系)	- (水源として基本設計方 針に記載)
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉 心冷却設備 その他原子 炉注水設備	-	-	-	3.11(3.6.8 代替循環 冷却系)	- (水源として基本設計方 針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	-	-	7.4(7.3.6.2 格納容 器スプレイ冷却系)	- (水源として基本設計方 針に記載)

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分							兼用する登録区分							
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
(前頁からの続き)	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(1) 原子炉格納容器本体	—	—	—	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 設計漏えい率 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 設計漏えい率 主要寸法 材料 個数	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	—	—	7.4(7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系)	— (水源として基本設計方針に記載)
7 原子炉格納施設									3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	—	—	7.4(7.3.6.6 代替循環冷却系)	— (水源として基本設計方針に記載)	
7 原子炉格納施設									3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	—	—	7.4(7.3.6.9 高圧代替注水系)	— (水源として基本設計方針に記載)	
原子炉建屋原子炉棟	7 原子炉格納施設	2 原子炉建屋	(1) 原子炉建屋原子炉棟	—	—	—	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 設計漏えい率 主要寸法 材料 個数	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 設計漏えい率 主要寸法 材料 個数	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	—	—	7.4(7.3.7.1 原子炉建屋ガス処理系) 7.4(7.3.7.1.1 非常用ガス再循環系)	— (流路として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	—	—	7.4(7.3.7.1 原子炉建屋ガス処理系) 7.4(7.3.7.1.2 非常用ガス処理系)	— (流路として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	—	—	7.4(7.3.7.4 水素濃度抑制系)	— (流路として基本設計方針に記載)

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分							兼用する登録区分							
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
原子炉建屋大物搬入口	7 原子炉格納施設	2 原子炉建屋	(2) 機器搬出入口	-	-	-	名称 主要寸法 個数	名称 主要寸法 個数	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	-	-	7.4(7.3.7.1 原子炉建屋ガス処理系) 7.4(7.3.7.1.1 非常用ガス再循環系)	-
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	-	-	7.4(7.3.7.1 原子炉建屋ガス処理系) 7.4(7.3.7.1.2 非常用ガス処理系)	-
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	-	-	7.4(7.3.7.4 水素濃度抑制系)	-
原子炉建屋エアロック	7 原子炉格納施設	2 原子炉建屋	(3) エアロック	-	-	-	名称 主要寸法 個数	名称 主要寸法 個数	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	-	-	7.4(7.3.7.1 原子炉建屋ガス処理系) 7.4(7.3.7.1.1 非常用ガス再循環系)	-
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	-	-	7.4(7.3.7.1 原子炉建屋ガス処理系) 7.4(7.3.7.1.2 非常用ガス処理系)	-
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	-	-	7.4(7.3.7.4 水素濃度抑制系)	-

要目表 (機器) 兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項 (全項目)	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
2-26B-12	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(8) 原子炉格納容器調気設備	ニ 主要弁	-	7.3.8.1 不活性ガス系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(7) 主要弁	-	-	3.5.2 格納容器圧力逃がし装置	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	-	-	3.11(3.5.3 耐圧強化ベント系)	- (SA時操作弁として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	ロ 主要弁	-	7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
2-26B-10	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(8) 原子炉格納容器調気設備	ニ 主要弁	-	7.3.8.1 不活性ガス系	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(7) 主要弁	-	-	3.5.2 格納容器圧力逃がし装置	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	-	-	3.11(3.5.3 耐圧強化ベント系)	- (SA時操作弁として基本設計方針に記載)
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	ロ 主要弁	-	7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
SA14-F001A, B	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	ロ 主要弁	-	7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(7) 主要弁	-	-	3.5.2 格納容器圧力逃がし装置	名称 種類 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 駆動方法 個数 取付箇所
圧力開放板	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	ハ 圧力開放板	-	7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置	設定破裂圧力 主要寸法 材料 個数 取付箇所	設定破裂圧力 主要寸法 材料 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	-	-	3.11(3.5.2 格納容器圧力逃がし装置)	- (圧力開放板機能として基本設計方針に記載)

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分								兼用する登録区分							
	施設区分	設備区分				系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分				系統名	設備別記載事項	
フィルタ装置	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	イ 容器	-	7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	-	-	3.11(3.5.2 格納容器圧力逃がし装置)	- (容器機能として基本設計方針に記載)	
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	-	-	7.4(7.3.7.5 窒素ガス代替注入系)	- (流路として基本設計方針に記載)	
	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	ヘ フィルター	-	7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置	名称 種類 効率 主要寸法 個数 取付箇所	名称 種類 効率 主要寸法 個数 取付箇所	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	-	-	3.11(3.5.2 格納容器圧力逃がし装置)	- (フィルター機能として基本設計方針に記載)		
軽油貯蔵タンクA	8 その他発電用原子炉の附属施設	1 非常用電源設備	2 非常用発電装置	(4) 燃料設備	ロ 容器	8.1.2.1 非常用ディーゼル発電装置	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	8 その他発電用原子炉の附属施設	1 非常用電源設備	2 非常用発電装置	ロ 容器	-	8.1.2.3 常設代替高圧電源装置	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	
軽油貯蔵タンクB	8 その他発電用原子炉の附属施設	1 非常用電源設備	2 非常用発電装置	(4) 燃料設備	ロ 容器	8.1.2.1 非常用ディーゼル発電装置	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	8 その他発電用原子炉の附属施設	1 非常用電源設備	2 非常用発電装置	ロ 容器	-	8.1.2.2 高圧炉心スプレィ系ディーゼル発電装置	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	
									8 その他発電用原子炉の附属施設	1 非常用電源設備	2 非常用発電装置	ロ 容器	-	8.1.2.3 常設代替高圧電源装置	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	
緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	1 外郭浸水防護設備	-	-	-	名称 種類 主要寸法 材料	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	-	-	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所	
緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	1 外郭浸水防護設備	-	-	-	名称 種類 主要寸法 材料	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	-	-	名称 種類 主要寸法 材料 取付箇所	

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分				系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分				系統名	設備別記載事項
格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチA	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	1 外郭浸水防護設備	—	—	—	名称種類 主要寸法 材料	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	—	—	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所
格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチB	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	1 外郭浸水防護設備	—	—	—	名称種類 主要寸法 材料	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	—	—	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所
常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチ	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	1 外郭浸水防護設備	—	—	—	名称種類 主要寸法 材料	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	—	—	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所
常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチA, B	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	1 外郭浸水防護設備	—	—	—	名称種類 主要寸法 材料	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	—	—	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所
常設代替高圧電源装置用カルパート原子炉建屋側水密扉	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	1 外郭浸水防護設備	—	—	—	名称種類 主要寸法 材料	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	—	—	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所
原子炉建屋原子炉棟水密扉	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	1 外郭浸水防護設備	—	—	—	名称種類 主要寸法 材料	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	—	—	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所
原子炉建屋付属棟東側水密扉	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	1 外郭浸水防護設備	—	—	—	名称種類 主要寸法 材料	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	—	—	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所
原子炉建屋付属棟西側水密扉	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	1 外郭浸水防護設備	—	—	—	名称種類 主要寸法 材料	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	—	—	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所
原子炉建屋付属棟南側水密扉	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	1 外郭浸水防護設備	—	—	—	名称種類 主要寸法 材料	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	—	—	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所
原子炉建屋付属棟北側水密扉1	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	1 外郭浸水防護設備	—	—	—	名称種類 主要寸法 材料	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	—	—	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所
原子炉建屋付属棟北側水密扉2	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	1 外郭浸水防護設備	—	—	—	名称種類 主要寸法 材料	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	2 内郭浸水防護設備	(1) 防水区画構造物	—	—	名称種類 主要寸法 材料 取付箇所
津波・構内監視カメラ	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	3 浸水防護施設の基本設計方針	—	—	—	—	—	4 計測制御系統施設	発電用原子炉の運転を管理するための制御装置	2 中央制御室機能及び中央制御室外原子炉停止機能	—	—	—	—

要目表（機器）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分								兼用する登録区分							
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）		施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
可搬型設備用軽油タンク	8 その他発電用原子炉の附属施設	6 補機駆動用燃料設備	1 燃料設備	(2) 容器	—	—	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	8 その他発電用原子炉の附属施設	1 非常用電源設備	2 非常用発電装置	(4) 燃料設備	□ 容器	8.1.2.5 可搬型代替 低圧電源車	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	
									8 その他発電用原子炉の附属施設	1 非常用電源設備	2 非常用発電装置	(4) 燃料設備	□ 容器	8.1.2.6 窒素供給装 置用電源車	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	
タンクローリ	8 その他発電用原子炉の附属施設	6 補機駆動用燃料設備	1 燃料設備	(2) 容器	—	—	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	8 その他発電用原子炉の附属施設	1 非常用電源設備	2 非常用発電装置	(4) 燃料設備	□ 容器	8.1.2.5 可搬型代替 低圧電源車	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	
									8 その他発電用原子炉の附属施設	1 非常用電源設備	2 非常用発電装置	(4) 燃料設備	□ 容器	8.1.2.6 窒素供給装 置用電源車	名称 種類 容量 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 材料 個数 取付箇所	
貯留堰	8 その他発電用原子炉の附属施設	7 非常用取水設備	1 取水設備	—	—	—	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数	名称 種類 容量 主要寸法 材料 個数	8 その他発電用原子炉の附属施設	5 浸水防護施設	1 外郭浸水防護設備	—	—	—	名称 種類 主要寸法 材料	

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分								兼用する登録区分							
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		設備別記載事項（全項目）		施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	
スキマサージタンク ～ 代替燃料プール冷却系配管 分岐点	2 核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却 浄化設備	(8) 主配管	—	—	2.4.1 燃料プール冷 却浄化系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	2 核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却 浄化設備	(8) 主配管	—	—	2.4.3 代替燃料プー ル冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
代替燃料プール冷却系配管 合流点 ～ 残留熱除去系及び燃料プー ル冷却系配管合流点	2 核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却 浄化設備	(8) 主配管	—	—	2.4.1 燃料プール冷 却浄化系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	2 核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却 浄化設備	(8) 主配管	—	—	2.4.3 代替燃料プー ル冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
残留熱除去系及び燃料プー ル冷却系配管合流点 ～ 使用済燃料プール	2 核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却 浄化設備	(8) 主配管	—	—	2.4.1 燃料プール冷 却浄化系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	2 核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却 浄化設備	(8) 主配管	—	—	2.4.3 代替燃料プー ル冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
低下代替注水系低圧炉心ス プレイ系配管分岐点 ～ 代替格納容器スプレイ冷却 系配管A系分岐点	2 核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却 浄化設備	(8) 主配管	—	—	2.4.2 代替燃料プー ル注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	×	主配管	—	7.3.6.5 代替格納容 器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	×	主配管	—	7.3.6.7 格納容器下 部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
代替格納容器スプレイ冷却 系配管A系分岐点 ～ 代替燃料プール注水系及び 格納容器下部注水系配管分 岐点	2 核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却 浄化設備	(8) 主配管	—	—	2.4.2 代替燃料プー ル注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	×	主配管	—	7.3.6.7 格納容器下 部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉圧力容器 ～ 再循環系ポンプ吸込管分岐 点	3 原子炉冷却系統施設	3 原子炉冷 却材再循環 設備	(3) 主配管	—	—	3.3.1 原子炉冷却材 再循環系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
再循環系ポンプA, B吐出管 合流点 ～ マニホールド管	3 原子炉冷却系統施設	3 原子炉冷 却材再循環 設備	(3) 主配管	—	—	3.3.1 原子炉冷却材 再循環系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
マニホールド管	3 原子炉冷却系統施設	3 原子炉冷 却材再循環 設備	(3) 主配管	—	—	3.3.1 原子炉冷却材 再循環系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
マニホールド管 ～ ジェットポンプへの供給管	3 原子炉冷却系統施設	3 原子炉冷 却材再循環 設備	(3) 主配管	—	—	3.3.1 原子炉冷却材 再循環系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
原子炉压力容器 ～ 原子炉隔離時冷却系主蒸気 管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	—	—	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.6 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.9 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
弁B22-F040 ～ アキュムレータ窒素供給配 管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	—	—	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	4 計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管	—	—	4.8.2 非常用窒素供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
自動減圧機能用アキュム レータ～ アキュムレータ窒素供給配 管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	—	—	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	4 計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管	—	—	4.8.2 非常用窒素供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
アキュムレータ窒素供給配 管分岐点 ～ 弁B22-F013B, C, F, H, K, L, R	3 原子炉冷却系統施設	4 原子炉冷却材の循環設備	(8) 主配管	—	—	3.4.1 主蒸気系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	4 計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管	—	—	4.8.2 非常用窒素供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系ストレーナA ～ サブプレッション・チェンバ	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低压注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サブプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
残留熱除去系ストレーナB ～ サブプレッション・チェンバ	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系ストレーナC ～ サブプレッション・チェンバ	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
サブプレッション・チェンバ ～ 弁E12-F004A	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
弁E12-F004A ～ 残留熱除去系ポンプA吸込管 合流点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系ポンプA吸込管 合流点 ～ 残留熱除去系ポンプA	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
サブプレッション・チェンバ ～ 弁E12-F004B	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
弁E12-F004B ～ 残留熱除去系ポンプB吸込管 合流点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
残留熱除去系ポンプB吸込管合流点～ 残留熱除去系ポンプB	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系ポンプA～ 残留熱除去系熱交換器Aバイパス管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
残留熱除去系熱交換器Aバイパス管分岐点 ～ 残留熱除去系熱交換器A	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系ポンプB ～ 残留熱除去系熱交換器Bバイパス管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
残留熱除去系熱交換器Bバイパス管分岐点 ～ 残留熱除去系熱交換器B	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系熱交換器A ～ A系統代替循環冷却系ポンプ 吸込管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
A系統代替循環冷却系ポンプ 吸込管分岐点 ～ 残留熱除去系熱交換器A出口 管合流点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系熱交換器A出口 管合流点 ～ A系統代替循環冷却系ポンプ 吐出管合流点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
A系統代替循環冷却系ポンプ 吐出管合流点 ～ A系統ドライウェルスプレイ 配管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
A系統ドライウェルスプレ 配管分岐点 ～ A系統テスト配管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器ス プレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッ ション・プール冷却 系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷 却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
A系統テスト配管分岐点 ～ 低圧代替注水系残留熱除去 系配管A系合流点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器ス プレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷 却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
低圧代替注水系残留熱除去 系配管A系合流点 ～ A系統原子炉注水管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器ス プレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	又 主配管	—	7.3.6.5 代替格納容 器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷 却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
A系統原子炉注水管分岐点 ～ 格納容器スプレイヘッドA （ドライウエル側）	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器ス プレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	又 主配管	—	7.3.6.5 代替格納容 器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷 却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
残留熱除去系熱交換器B ～ B系統代替循環冷却系ポンプ 吸込管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
B系統代替循環冷却系ポンプ 吸込管分岐点 ～ 残留熱除去系熱交換器B出口 管合流点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系熱交換器B出口 管合流点 ～ B系統代替循環冷却系ポンプ 吐出管合流点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分					兼用する登録区分									
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
B系統代替循環冷却系ポンプ吐出管合流点 ～ B系統テスト配管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
B系統テスト配管分岐点 ～ B系統サプレッション・チェンバスプレイ配管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
B系統サプレッション・チェンバスプレイ配管分岐点 ～ 低圧代替注水系残留熱除去系配管B系合流点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
低圧代替注水系残留熱除去系配管B系合流点 ～ 格納容器スプレイヘッドB（ドライウェル側）	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.5 代替格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分																
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項										
残留熱除去系熱交換器Aバイパス管分岐点 ～ 残留熱除去系熱交換器A出口管合流点	3	原子炉冷却系統施設	5	残留熱除去設備	(8)	主配管	—	—	3.5.1	残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3	原子炉冷却系統施設	6	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7)	主配管	—	—	3.6.4	低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系熱交換器Bバイパス管分岐点 ～ 残留熱除去系熱交換器B出口管合流点	3	原子炉冷却系統施設	5	残留熱除去設備	(8)	主配管	—	—	3.5.1	残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3	原子炉冷却系統施設	6	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7)	主配管	—	—	3.6.4	低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
サブプレッション・チェンバ ～ 弁E12-F004C	3	原子炉冷却系統施設	5	残留熱除去設備	(8)	主配管	—	—	3.5.1	残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3	原子炉冷却系統施設	6	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7)	主配管	—	—	3.6.4	低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
弁E12-F004C ～ 残留熱除去系ポンプC吸込管合流点	3	原子炉冷却系統施設	5	残留熱除去設備	(8)	主配管	—	—	3.5.1	残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3	原子炉冷却系統施設	6	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7)	主配管	—	—	3.6.4	低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系ポンプC吸込管合流点 ～ 残留熱除去系ポンプC	3	原子炉冷却系統施設	5	残留熱除去設備	(8)	主配管	—	—	3.5.1	残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3	原子炉冷却系統施設	6	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7)	主配管	—	—	3.6.4	低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系ポンプC ～ 低圧代替注水系残留熱除去系配管C系合流点	3	原子炉冷却系統施設	5	残留熱除去設備	(8)	主配管	—	—	3.5.1	残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3	原子炉冷却系統施設	6	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7)	主配管	—	—	3.6.4	低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
低圧代替注水系残留熱除去系配管C系合流点 ～ C系統低圧注水系配管分岐点	3	原子炉冷却系統施設	5	残留熱除去設備	(8)	主配管	—	—	3.5.1	残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3	原子炉冷却系統施設	6	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7)	主配管	—	—	3.6.4	低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
													3	原子炉冷却系統施設	6	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7)	主配管	—	—	3.6.7	低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
													7	原子炉格納施設	3	圧力低減設備 その他安全設備	(6)	原子炉格納容器安全設備	又	主配管	—	7.3.6.10	低圧代替注水系
C系統低圧注水系配管分岐点 ～ 弁E12-F042C	3	原子炉冷却系統施設	5	残留熱除去設備	(8)	主配管	—	—	3.5.1	残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3	原子炉冷却系統施設	6	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7)	主配管	—	—	3.6.4	低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
													3	原子炉冷却系統施設	6	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7)	主配管	—	—	3.6.7	低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
													7	原子炉格納施設	3	圧力低減設備 その他安全設備	(6)	原子炉格納容器安全設備	又	主配管	—	7.3.6.10	低圧代替注水系

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
A系統テスト配管分岐点 ～ A系統サブプレッション・チェンバ スプレイ配管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
A系統サブプレッション・チェンバ スプレイ配管分岐点 ～ A系統代替循環冷却系テスト配管合流点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
A系統代替循環冷却系テスト配管合流点 ～ サブプレッション・チェンバ	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
B系統テスト配管分岐点 ～ B系統代替循環冷却系原子炉注水配管合流点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
B系統代替循環冷却系原子炉注水配管合流点 ～ B系統原子炉停止時冷却系配管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
B系統原子炉停止時冷却系配管分岐点 ～ B系統低圧注水配管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
B系統低圧注水配管分岐点 ～ B系統代替循環冷却系テスト配管合流点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
B系統代替循環冷却系テスト配管合流点 ～ サブプレッション・チェンバ	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
A系統ドライウェルスプレイ配管分岐点 ～ A系統原子炉停止時冷却系配管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
A系統原子炉停止時冷却系配管分岐点 ～ A系統代替循環冷却系原子炉注水配管合流点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
A系統代替循環冷却系原子炉注水配管合流点 ～ 弁E12-F042A	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
B系統低圧注水系配管分岐点 ～ 弁E12-F042B	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
A系統サブプレッション・チェンバースプレイ配管分岐点 ～ 格納容器スプレイヘッド (サブプレッション・チェンバ側)	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
B系統サブプレッション・チェンバースプレイ配管分岐点 ～ 格納容器スプレイヘッド (サブプレッション・チェンバ側)	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
弁E12-F042A ～ 弁E12-F041A	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
弁E12-F041A ～ 原子炉圧力容器	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
弁E12-F042B ～ 弁E12-F041B	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
弁E12-F041B ～ 原子炉圧力容器	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
弁E12-F042C ～ 弁E12-F041C	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.7 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.10 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
弁E12-F041C ～ 原子炉压力容器	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.7 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.10 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
耐圧強化ベント系配管分岐点 ～ 格納容器圧力逃がし装置配管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.3 耐圧強化ベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.2 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管	—	7.3.7.5 窒素ガス代替注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	ニ 主配管	—	7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
高圧炉心スプレィ系ストレーナ ～ サブプレッション・チェンバ	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.1 高圧炉心スプレィ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.6 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.9 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
サブプレッション・チェンバ ～ 高圧炉心スプレィ系ポンプ吸込管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.1 高圧炉心スプレィ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.6 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.9 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分							兼用する登録区分									
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項				
低圧代替注水系低圧炉心スプレイ系配管合流点 ～ 弁E21-F005	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.2 低圧炉心スプレイ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.7 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
										7	原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.10 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
弁E21-F005 ～ 弁E21-F006	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.2 低圧炉心スプレイ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.7 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
										7	原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.10 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
弁E21-F006 ～ 原子炉圧力容器	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.2 低圧炉心スプレイ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.7 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
										7	原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.10 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉隔離時冷却系タービン入口蒸気管分岐点 ～ 常設高圧代替注水系タービン	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.6 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7	原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.9 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
常設高圧代替注水系タービン ～ 原子炉隔離時冷却系タービン排気管合流点	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.6 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7	原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.9 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
高圧炉心スプレイ系ポンプ吸込管分岐点 ～ 常設高圧代替注水系ポンプ	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.6 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7	原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.9 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
常設高圧代替注水系ポンプ ～ 原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出管合流点	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.6 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7	原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.9 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
代替淡水貯槽 ～ 常設低圧代替注水系ポンプ	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.7 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(8) 主配管	—	—	2.4.2 代替燃料プール注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.5 代替格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.7 格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.10 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
常設低圧代替注水系ポンプ ～ 低圧代替注水系配管合流点	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.7 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(8) 主配管	—	—	2.4.2 代替燃料プール注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.5 代替格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.7 格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7.3.6.10 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分							兼用する登録区分																
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項											
低压代替注水系配管合流点 ～ 代替格納容器スプレイ冷却系配管B系分岐点	3	原子炉冷却系統施設	6	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7)	主配管	—	—	3. 6. 7	低压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	2	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(8)	主配管	—	—	2. 4. 2	代替燃料プール注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
													7	原子炉格納施設	3	圧力低減設備その他の安全設備	(6)	原子炉格納容器安全設備	×	主配管	—	7. 3. 6. 5	代替格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
													7	原子炉格納施設	3	圧力低減設備その他の安全設備	(6)	原子炉格納容器安全設備	×	主配管	—	7. 3. 6. 7	格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
													7	原子炉格納施設	3	圧力低減設備その他の安全設備	(6)	原子炉格納容器安全設備	×	主配管	—	7. 3. 6. 10	低压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
代替格納容器スプレイ冷却系配管B系分岐点 ～ 格納容器下部注水系配管分岐点	3	原子炉冷却系統施設	6	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7)	主配管	—	—	3. 6. 7	低压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	2	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(8)	主配管	—	—	2. 4. 2	代替燃料プール注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
													7	原子炉格納施設	3	圧力低減設備その他の安全設備	(6)	原子炉格納容器安全設備	×	主配管	—	7. 3. 6. 7	格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
													7	原子炉格納施設	3	圧力低減設備その他の安全設備	(6)	原子炉格納容器安全設備	×	主配管	—	7. 3. 6. 10	低压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
格納容器下部注水系配管分岐点 ～ 代替燃料プール注水系及び 低压代替注水系配管分岐点	3	原子炉冷却系統施設	6	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7)	主配管	—	—	3. 6. 7	低压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	2	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(8)	主配管	—	—	2. 4. 2	代替燃料プール注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
													7	原子炉格納施設	3	圧力低減設備その他の安全設備	(6)	原子炉格納容器安全設備	×	主配管	—	7. 3. 6. 10	低压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
代替燃料プール注水系及び 低压代替注水系配管分岐点 ～ 低压代替注水系残留熱除去系配管C系合流点	3	原子炉冷却系統施設	6	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7)	主配管	—	—	3. 6. 7	低压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7	原子炉格納施設	3	圧力低減設備その他の安全設備	(6)	原子炉格納容器安全設備	×	主配管	—	7. 3. 6. 10	低压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
原子炉建屋西側接続口 ～ 高所接続口配管合流点	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3. 6. 7 低压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(8) 主配管	—	—	2. 4. 2 代替燃料プール注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7. 3. 6. 5 代替格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7. 3. 6. 7 格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7. 3. 6. 10 低压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
高所接続口配管合流点 ～ 低压代替注水系配管合流点	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3. 6. 7 低压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(8) 主配管	—	—	2. 4. 2 代替燃料プール注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7. 3. 6. 5 代替格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7. 3. 6. 7 格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7. 3. 6. 10 低压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉建屋東側接続口 ～ 低压代替注水系低压炉心スプレイ系配管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3. 6. 7 低压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(8) 主配管	—	—	2. 4. 2 代替燃料プール注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7. 3. 6. 5 代替格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7. 3. 6. 7 格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	—	7. 3. 6. 10 低压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分										
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項				
低圧代替注水系低圧炉心スプレイ系配管分岐点 ～ 低圧代替注水系低圧炉心スプレイ系配管合流点	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.7 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7	原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.10 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
高所西側接続口及び高所東側接続口 ～ 高所接続口配管合流点	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.7 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	2	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(8) 主配管	—	—	2.4.2 代替燃料プール注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
										7	原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.5 代替格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
										7	原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.7 格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
										7	原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.10 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分					兼用する登録区分										
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項			
取水用5mホース (次頁へ続く)	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.7 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(8) 主配管	—	—	2.4.2 代替燃料プール注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	
									2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(8) 主配管	—	—	2.4.4 原子炉建屋放水設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	
									2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(8) 主配管	—	—	2.4.5 代替水源供給設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.2 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.4 代替水源供給設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.9 代替水源供給設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又	主配管	—	7.3.6.5 代替格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又	主配管	—	7.3.6.7 格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又	主配管	—	7.3.6.10 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
(前頁からの続き)	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.7 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	7.3.6.11 原子炉建屋放水設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	7.3.6.12 代替水源供給設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	二 主配管	-	7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	二 主配管	-	7.3.9.2 代替水源供給設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）
送水用5m, 10m, 50mホース (次項へ続く)	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.7 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	2 核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却 浄化設備	(8) 主配管	-	-	2.4.2 代替燃料プール注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）
									2 核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却 浄化設備	(8) 主配管	-	-	2.4.5 代替水源供給設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.2 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.4 代替水源供給設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.9 代替水源供給設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
(前頁からの続き)	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.7 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	7.3.6.5 代替格納容器 スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	7.3.6.7 格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	7.3.6.10 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	7.3.6.12 代替水源供給設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	二 主配管	-	7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	二 主配管	-	7.3.9.2 代替水源供給設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）
A系統代替循環冷却系ポンプ 吸込管分岐点 ～ 代替循環冷却系ポンプA	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
代替循環冷却系ポンプA ～ 代替循環冷却系代替格納容器 スプレイ配管A系分岐点	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
代替循環冷却系代替格納容器 スプレイ配管A系分岐点 ～ 代替循環冷却系テスト配管A 系分岐点	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分								兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		設備別記載事項（全項目）		施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
代替循環冷却系テスト配管A系分岐点 ～ A系統代替循環冷却系原子炉注水配管合流点	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3. 6. 8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7	原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7. 3. 6. 6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
B系統代替循環冷却系ポンプ吸込管分岐点 ～ 代替循環冷却系ポンプB	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3. 6. 8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7	原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7. 3. 6. 6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
代替循環冷却系ポンプB ～ 代替循環冷却系代替格納容器スプレイ配管B系分岐点	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3. 6. 8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7	原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7. 3. 6. 6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
代替循環冷却系代替格納容器スプレイ配管B系分岐点 ～ 代替循環冷却系テスト配管B系分岐点	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3. 6. 8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7	原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7. 3. 6. 6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
代替循環冷却系テスト配管B系分岐点 ～ B系統代替循環冷却系原子炉注水配管合流点	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3. 6. 8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7	原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7. 3. 6. 6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉隔離時冷却系主蒸気管分岐点 ～ 弁E51-F063	3	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	—	—	3. 7. 1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3. 6. 3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
										3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3. 6. 6 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
										7	原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7. 3. 6. 9 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
弁E51-F063 ～ 弁E51-F064	3	原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	—	—	3. 7. 1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3. 6. 3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
										3	原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3. 6. 6 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
										7	原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7. 3. 6. 9 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
弁E51-F064 ～ 原子炉隔離時冷却系タービン入口蒸気管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	—	—	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.6 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.9 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉隔離時冷却系タービン入口蒸気管分岐点 ～ 弁E51-F045	3 原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	—	—	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
弁E51-F045 ～ 原子炉隔離時冷却系タービン	3 原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	—	—	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉隔離時冷却系タービン ～ 原子炉隔離時冷却系タービン排気管合流点	3 原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	—	—	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉隔離時冷却系タービン排気管合流点 ～ 弁E51-F068	3 原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	—	—	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.6 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.9 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
弁E51-F068 ～ サブプレッション・チェンバ	3 原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	—	—	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.6 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.9 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
原子炉隔離時冷却系ストレーナ ～ サブプレッション・チェンバ	3 原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	—	—	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
サブプレッション・チェンバ ～ 補給水系配管合流点	3 原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	—	—	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
補給水系配管合流点 ～ 原子炉隔離時冷却系ポンプ	3 原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	—	—	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉隔離時冷却系ポンプ ～ 原子炉隔離時冷却系ポンプ 吐出管合流点	3 原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	—	—	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉隔離時冷却系ポンプ 吐出管合流点 ～ 残留熱除去系原子炉注水管 合流点	3 原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	—	—	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.6 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.9 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系原子炉注水管 合流点 ～ 弁E51-F065	3 原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	—	—	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.6 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.9 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分							兼用する登録区分							
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
弁E51-F065 ～ 弁E51-F066	3 原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	—	—	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.6 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.9 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
弁E51-F066 ～ 原子炉压力容器	3 原子炉冷却系統施設	7 原子炉冷却材補給設備	(5) 主配管	—	—	3.7.1 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.6 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.9 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
A系統緊急用海水系配管合流点 ～ 残留熱除去系熱交換器A	3 原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管	—	—	3.8.3 残留熱除去系海水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管	—	—	3.8.4 緊急用海水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
B系統緊急用海水系配管合流点 ～ 残留熱除去系熱交換器B	3 原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管	—	—	3.8.3 残留熱除去系海水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管	—	—	3.8.4 緊急用海水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系熱交換器A ～ A系統代替燃料プール冷却系 緊急用海水配管合流点	3 原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管	—	—	3.8.3 残留熱除去系海水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管	—	—	3.8.4 緊急用海水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
残留熱除去系熱交換器B ～ B系統代替燃料プール冷却系 緊急用海水配管合流点	3 原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管	—	—	3.8.3 残留熱除去系海水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管	—	—	3.8.4 緊急用海水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
A系統代替燃料プール冷却系 緊急用海水配管合流点 ～ A系統非常用放出配管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管	—	—	3.8.3 残留熱除去系海水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管	—	—	3.8.4 緊急用海水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
B系統代替燃料プール冷却系 緊急用海水配管合流点 ～ B系統非常用放出配管分岐点	3 原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管	—	—	3.8.3 残留熱除去系海水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	8 原子炉補機冷却設備	(9) 主配管	—	—	3.8.4 緊急用海水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分								兼用する登録区分													
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		設備別記載事項（全項目）		施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項							
A系統非常用放出配管分岐点 ～ A系統放水先	3	原子炉冷却系統施設	8	原子炉補機冷却設備	(9)	主配管	—	—	3.8.3 残留熱除去系海水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3	原子炉冷却系統施設	8	原子炉補機冷却設備	(9)	主配管	—	—	3.8.4 緊急用海水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
B系統非常用放出配管分岐点 ～ B系統放水先	3	原子炉冷却系統施設	8	原子炉補機冷却設備	(9)	主配管	—	—	3.8.3 残留熱除去系海水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3	原子炉冷却系統施設	8	原子炉補機冷却設備	(9)	主配管	—	—	3.8.4 緊急用海水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
ほう酸水貯蔵タンク ～ ほう酸水注入ポンプ（連絡配管含む）	4	計測制御系統施設	4	ほう酸水注入設備	(5)	主配管	—	—	4.4.1 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3	原子炉冷却系統施設	6	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7)	主配管	—	—	3.6.5 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
												7	原子炉格納施設	3	圧力低減設備 その他の安全設備	(6)	原子炉格納容器安全設備	又	主配管	—	7.3.6.4 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
ほう酸水注入ポンプ ～ 弁C41-F004A, B（連絡配管含む）	4	計測制御系統施設	4	ほう酸水注入設備	(5)	主配管	—	—	4.4.1 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3	原子炉冷却系統施設	6	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7)	主配管	—	—	3.6.5 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
												7	原子炉格納施設	3	圧力低減設備 その他の安全設備	(6)	原子炉格納容器安全設備	又	主配管	—	7.3.6.4 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
弁C41-F004A, B ～ 原子炉圧力容器	4	計測制御系統施設	4	ほう酸水注入設備	(5)	主配管	—	—	4.4.1 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3	原子炉冷却系統施設	6	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7)	主配管	—	—	3.6.5 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
												7	原子炉格納施設	3	圧力低減設備 その他の安全設備	(6)	原子炉格納容器安全設備	又	主配管	—	7.3.6.4 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
非常用窒素供給系高圧窒素ポンベ出口配管合流点 ～ 弁B22-F040	4	計測制御系統施設	8	制御用空気設備	(5)	主配管	—	—	4.8.1 窒素供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	4	計測制御系統施設	8	制御用空気設備	(5)	主配管	—	—	4.8.2 非常用窒素供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
格納容器機器ドレンサンブ出口配管分岐点 ～ 格納容器機器ドレンサンブスリット	5	放射性廃棄物の廃棄施設	2	気体、液体又は固体廃棄物処理設備	(10)	主配管	—	—	5.2.2.1 機器ドレン処理系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7	原子炉格納容器施設	3	圧力低減設備 その他の安全設備	(6)	原子炉格納容器安全設備	又	主配管	—	7.3.6.8 ベデスタル排水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
格納容器機器ドレンサンブスリット ～ 格納容器機器ドレン配管分岐点	5	放射性廃棄物の廃棄施設	2	気体、液体又は固体廃棄物処理設備	(10)	主配管	—	—	5.2.2.1 機器ドレン処理系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7	原子炉格納容器施設	3	圧力低減設備 その他の安全設備	(6)	原子炉格納容器安全設備	又	主配管	—	7.3.6.8 ベデスタル排水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
格納容器床ドレンサンプ導入管	5 放射性廃棄物の廃棄施設	2 気体、液体又は固体廃棄物処理設備	(10) 主配管	—	—	5.2.2.2 床ドレン処理系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納容器施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.8 ベデスタル排水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
格納容器床ドレンサンプスリット ～ 格納容器床ドレン配管分岐点	5 放射性廃棄物の廃棄施設	2 気体、液体又は固体廃棄物処理設備	(10) 主配管	—	—	5.2.2.2 床ドレン処理系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納容器施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.8 ベデスタル排水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-2	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	—	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.6 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.9 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-6	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	—	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.1 高圧炉心スプレイス	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-8	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	—	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.2 低圧炉心スプレイス	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.7 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.10 低圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-19A, B	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	—	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
X-20	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	—	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-21	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	—	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.6 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.9 高压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-12A, B	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	—	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低压注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-12C	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	—	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.4 低压注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(7) 主配管	—	—	3.6.7 低压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	—	7.3.6.10 低压代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
X-3	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	-	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.2 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.3 耐圧強化ベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	二 主配管	-	7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-4	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	-	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.6 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	7.3.6.9 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-11A, B	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	-	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	7.3.6.5 代替格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
X-13	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	-	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.5 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									4 計測制御系統施設	4 ほう酸水注入設備	(5) 主配管	-	-	4.4.1 ほう酸水注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	-	7.3.6.4 ほう酸水注入系
X-25A, B	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	-	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	-	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系
X-31	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	-	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.1 高圧炉心スプレイ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.6 高圧代替注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	-	7.3.6.9 高圧代替注水系

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分									
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項			
X-32	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	-	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又	主配管	-	7.3.6.2 格納容器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又	主配管	-	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備 その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又	主配管	-	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-33	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	-	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.3 原子炉隔離時冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
X-34	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	-	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.2 低圧炉心スプレイ系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
X-35	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	-	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.8 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	7.3.6.2 格納容器スプレィ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-36	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	-	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(7) 主配管	-	-	3.6.4 低圧注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-47	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	-	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	又 主配管	-	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
X-48	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	-	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	-	7.3.6.3 サプレッション・プール冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	-	7.3.6.6 代替循環冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-55	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	-	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	4 計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管	-	-	4.8.2 非常用窒素供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-56	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	-	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管	-	7.3.7.5 窒素ガス代替注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-57	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	-	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	4 計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管	-	-	4.8.2 非常用窒素供給系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									4 計測制御系統施設	8 制御用空気設備	(5) 主配管	-	-	4.8.3 非常用逃がし安全弁駆動系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	× 主配管	-	7.3.6.7 格納容器下部注水系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-77	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	-	-	-	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	ニ 主配管	-	7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
X-79	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	—	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.2 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.3 耐圧強化ベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	二 主配管	—	7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-80	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	—	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管	—	7.3.7.5 窒素ガス代替注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-9A, B, C, D	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	—	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	4 計測制御系統施設	3 制御材駆動装置	(2) 制御棒駆動水圧設備	ホ 主配管	—	4.3.2.1 制御棒駆動水圧系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
X-10A, B, C, D	7 原子炉格納施設	1 原子炉格納容器	(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部	—	—	—	名称又は貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 材料	名称 貫通部番号 種類 個数 最高使用圧力 最高使用温度 構成 主要寸法 外径 厚さ 材料	4 計測制御系統施設	3 制御材駆動装置	(2) 制御棒駆動水圧設備	ホ 主配管	—	4.3.2.1 制御棒駆動水圧系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分							兼用する登録区分							
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
格納容器スプレイヘッドA （ドライウエル側）	7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	ヌ 主配管	-	7.3.6.1 格納容器ス プレイヘッド	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	ヌ 主配管	-	7.3.6.2 格納容器ス プレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	ヌ 主配管	-	7.3.6.5 代替格納容 器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	ヌ 主配管	-	7.3.6.6 代替循環冷 却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
格納容器スプレイヘッドB （ドライウエル側）	7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	ヌ 主配管	-	7.3.6.1 格納容器ス プレイヘッド	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	ヌ 主配管	-	7.3.6.2 格納容器ス プレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	ヌ 主配管	-	7.3.6.5 代替格納容 器スプレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	ヌ 主配管	-	7.3.6.6 代替循環冷 却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
格納容器スプレイヘッド （サブプレッション・チェン バ側）	7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	ヌ 主配管	-	7.3.6.1 格納容器ス プレイヘッド	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.1 残留熱除去系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	ヌ 主配管	-	7.3.6.2 格納容器ス プレイ冷却系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
放水砲用5m, 50mホース	7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(6) 原子炉 格納容器安 全設備	ヌ 主配管	-	7.3.6.11 原子炉建屋 放水設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	2 核燃料物質の取扱 施設及び貯蔵施設	4 使用済燃 料貯蔵槽冷 却浄化設備	(8) 主配管	-	-	2.4.4 原子炉建屋放 水設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分								兼用する登録区分							
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項			
放水砲	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(6) 原子炉格納容器安全設備	ヌ 主配管	—	7.3.6.11 原子炉建屋放水設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(8) 主配管	—	—	2.4.4 原子炉建屋放水設備	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	
耐圧強化ベント系配管合流点 ～ 非常用ガス処理系フィルタ トレイン出口管合流点	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管	—	7.3.7.1.2 非常用ガス処理系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.3 耐圧強化ベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
非常用ガス処理系フィルタ トレイン出口管合流点 ～ 非常用ガス処理系排気筒接続部	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管	—	7.3.7.1.2 非常用ガス処理系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.3 耐圧強化ベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
窒素ガス代替注入系配管合流点 ～ サブプレッション・チェンバ 側窒素供給配管合流点	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(8) 原子炉格納容器調気設備	ホ 主配管	—	7.3.8.1 不活性ガス系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	ル 主配管	—	—	7.3.7.5 窒素ガス代替注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
サブプレッション・チェンバ 側窒素供給配管合流点 ～ 原子炉格納容器	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(8) 原子炉格納容器調気設備	ホ 主配管	—	7.3.8.1 不活性ガス系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	ル 主配管	—	—	7.3.7.5 窒素ガス代替注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
原子炉格納容器 ～ 弁2-26B-12	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(8) 原子炉格納容器調気設備	ホ 主配管	—	7.3.8.1 不活性ガス系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.2 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.3 耐圧強化ベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	ニ 主配管	—	—	7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
弁2-26B-12 ～ ドライウェル側窒素ガス代替注入系配管合流点	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(8) 原子炉格納容器調気設備	ホ 主配管	—	7.3.8.1 不活性ガス系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.2 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.3 耐圧強化ベント系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	ニ 主配管	—	—	7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分							兼用する登録区分							
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
原子炉格納容器 ～ 弁2-26B-10	7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(8) 原子炉 格納容器調 気設備	ホ 主配管	-	7.3.8.1 不活性ガス 系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.2 格納容器圧力 逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.3 耐圧強化ベン ト系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(9) 圧力逃 がし装置	ニ 主配管	-	7.3.9.1 格納容器圧 力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
弁2-26B-10 ～ サブプレッション・チェンバ 側窒素ガス代替注入系配管 合流点	7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(8) 原子炉 格納容器調 気設備	ホ 主配管	-	7.3.8.1 不活性ガス 系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.2 格納容器圧力 逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.3 耐圧強化ベン ト系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(9) 圧力逃 がし装置	ニ 主配管	-	7.3.9.1 格納容器圧 力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
ドライウエル側窒素ガス代 替注入系配管合流点及びサブ プレッション・チェンバ側 窒素ガス代替注入系配管合 流点 ～ 窒素排気管合流点	7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(8) 原子炉 格納容器調 気設備	ホ 主配管	-	7.3.8.1 不活性ガス 系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.2 格納容器圧力 逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	-	-	3.5.3 耐圧強化ベン ト系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(7) 放射性 物質濃度制 御設備及び 可燃性ガス 濃度制御設 備並びに格 納容器再循 環設備	ル 主配管	-	7.3.7.5 窒素ガス代 替注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(9) 圧力逃 がし装置	ニ 主配管	-	7.3.9.1 格納容器圧 力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分						兼用する登録区分								
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
窒素排気管合流点 ～ 原子炉棟換気系及び原子炉 建屋ガス処理系分岐点	7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(8) 原子炉 格納容器調 気設備	ホ 主配管	—	7.3.8.1 不活性ガス 系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.2 格納容器圧力 逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.3 耐圧強化ベン ト系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(7) 放射性 物質濃度制 御設備及び 可燃性ガス 濃度制御設 備並びに格 納容器再循 環設備	ル 主配管	—	7.3.7.5 窒素ガス代 替注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(9) 圧力逃 がし装置	ニ 主配管	—	7.3.9.1 格納容器圧 力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
原子炉棟換気系及び原子炉 建屋ガス処理系分岐点 ～ 耐圧強化ベント系配管分岐 点	7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(8) 原子炉 格納容器調 気設備	ホ 主配管	—	7.3.8.1 不活性ガス 系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.2 格納容器圧力 逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.3 耐圧強化ベン ト系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(7) 放射性 物質濃度制 御設備及び 可燃性ガス 濃度制御設 備並びに格 納容器再循 環設備	ル 主配管	—	7.3.7.5 窒素ガス代 替注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(9) 圧力逃 がし装置	ニ 主配管	—	7.3.9.1 格納容器圧 力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
格納容器圧力逃がし装置配 管分岐点 ～ フィルタ装置	7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(9) 圧力逃 がし装置	ニ 主配管	—	7.3.9.1 格納容器圧 力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除 去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.2 格納容器圧力 逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料
									7 原子炉格納施設	3 圧力低減 設備その他 の安全設備	(7) 放射性 物質濃度制 御設備及び 可燃性ガス 濃度制御設 備並びに格 納容器再循 環設備	ル 主配管	—	7.3.7.5 窒素ガス代 替注入系	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料

要目表（配管）兼用先一覧

機器名称	主たる登録区分								兼用する登録区分							
	施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項	設備別記載事項（全項目）		施設区分	設備区分			系統名	設備別記載事項		
フィルタ装置 ～ 排気管	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	二 主配管	—	7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.2 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
							7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備							(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	ル 主配管
フィルタ装置スクラビング水補給ライン接続口 ～ フィルタ装置	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	二 主配管	—	7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.2 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料	
格納容器圧力逃がし装置送水用20mホース	7 原子炉格納施設	3 圧力低減設備その他の安全設備	(9) 圧力逃がし装置	二 主配管	—	7.3.9.1 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	3 原子炉冷却系統施設	5 残留熱除去設備	(8) 主配管	—	—	3.5.2 格納容器圧力逃がし装置	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	
タンクローリ給油用10mホース	8 その他発電用原子炉の付属施設	6 補機駆動用燃料設備	1 燃料設備	(4) 主配管	—	—	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	8 その他発電用原子炉の付属施設	1 非常用電源設備	2 非常用発電装置	(4) 燃料設備	二 主配管	8.1.2.5 可搬型代替低圧電源車	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	
							8 その他発電用原子炉の付属施設	1 非常用電源設備	2 非常用発電装置	(4) 燃料設備	二 主配管	8.1.2.6 窒素供給装置用電源車	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）			
タンクローリ送油用19.5mホース	8 その他発電用原子炉の付属施設	6 補機駆動用燃料設備	1 燃料設備	(4) 主配管	—	—	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	8 その他発電用原子炉の付属施設	1 非常用電源設備	2 非常用発電装置	(4) 燃料設備	二 主配管	8.1.2.5 可搬型代替低圧電源車	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）	
							8 その他発電用原子炉の付属施設	1 非常用電源設備	2 非常用発電装置	(4) 燃料設備	二 主配管	8.1.2.6 窒素供給装置用電源車	名称 最高使用圧力 最高使用温度 外径 厚さ 材料 個数（可搬型） 取付箇所（可搬型）			

各施設と技術基準規則の各条文との対比一覧表（1/2）

条文	総則			設計基準対象施設																																																							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48											
	適用範囲	定義	特殊な設計	地盤	地震	津波	外部衝撃	立ち入り防止	不法侵入	急傾斜地	火災	溢水	避難通路	安全設備	設計基準対象施設	全交電源喪失	材料構造	破壊の防止	流体振動	安全弁	耐圧試験	監視試験片	炉心等	熱遮蔽材	一次冷却材	燃料取扱設備	パウダリ隔離装置	パウダリ隔離装置	一次冷却材処理装置	逆止め弁	蒸気タービン	非常炉心冷却設備	循環設備	計測装置	安全保護装置	反応度制御	制御棒	原子炉制御室	廃棄物処理設備	廃棄物貯蔵設備	汚染の防止	生体遮蔽	換気設備	原子炉格納施設	保安電源設備	緊急時対策所	警報装置等	準用											
分類				共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	個別	共通	共通	個別	共通	共通	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	共通										
原子炉施設の種類の																																																											
原子炉本体				○	○	○	○	△	○	-	○	○	○	△	△	-	△	△	△	-	△	△	△	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設				○	○	○	○	△	○	-	○	○	○	○	○	-	△	△	-	-	△	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	○	△	-	-	-	○	△				
原子炉冷却系統施設				○	○	○	○	△	○	-	○	○	○	○	○	-	○	□	○	△	□	-	-	-	△	△	○	○	△	○	△	△	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	△
計測制御系統施設				○	○	○	○	△	○	-	○	○	○	○	○	-	△	△	-	△	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	△	○	○	△	△	○	-	-	△	-	-	-	-	-	-	○	○	△	-	-	-	○	△			
放射性廃棄物の廃棄施設				○	○	○	○	△	○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	□	-	△	□	-	-	-	-	-	-	-	△	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	△	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	△			
放射線管理施設				○	○	○	○	△	○	-	○	○	○	○	△	-	△	△	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	△	△	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	△			
原子炉格納施設				○	○	○	○	△	○	-	○	○	○	○	○	-	○	□	○	△	□	-	-	-	-	△	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	△	○	-	-	-	-	-	-	-	△	-	△	○	
その他発電用原子炉の附属施設	非常用電源設備			○	○	○	○	△	○	-	○	○	○	○	○	○	△	△	-	△	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	○						
	常用電源設備			○	△	-	○	△	○	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	○	-	-	△		
	補助ボイラー			○	△	-	○	△	○	-	○	-	-	○	△	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△				
	火災防護設備			○	○	-	○	△	○	-	○	-	○	○	○	-	○	□	-	-	□	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○				
	浸水防護施設			○	○	○	○	△	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	補機駆動用燃料設備			○	○	-	○	△	○	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○				
	非常用取水設備			○	○	○	○	△	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
敷地内土木構造物			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
緊急時対策所			○	○	-	○	△	○	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○		
第7、13条への対応に必要な施設(原子炉冷却系統施設)※			○	○	-	○	△	○	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
【記号説明】	○：条文要求に追加・変更がある。又は追加設備がある。 △：条文要求に追加・変更がなく、追加設備もない。 ※：安全避難通路、火山、外部火災、竜巻への対応に必要な設備の基本設計方針は、原子炉冷却系統施設にて整理 -：条文の適用を受ける設備がない。 □：保安規定等にて維持・管理が必要な追加設備がある。																																																										

各施設と技術基準規則の各条文との対比一覧表（2 / 2）

条文	重大事故等対処施設																													
	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78
分類	地盤	地震	津波	火災	特重設備	重大事故等対処設備	材料構造	破壊の防止	安全弁	耐圧試験	未臨界	高圧時の冷却	バウンダリの減圧	低圧時の冷却	最終ヒートシンク	CV冷却	CV過圧破損防止	下部溶融炉心冷却	CV水素爆発	原子炉建屋水素爆発	SFP冷却	拡散抑制	水の供給	電源設備	計装設備	原子炉制御室	監視測定設備	緊急時対策所	通信	準用
原子炉施設の種類の分類	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	共通
原子炉本体																														
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	○	○	○	○	-	○	○	□	-	□	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-	○
原子炉冷却系統施設	○	○	○	○	-	○	○	□	○	□	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○
計測制御系統施設	○	○	○	○	-	○	○	□	○	□	○	-	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○
放射性廃棄物の廃棄施設																														
放射線管理施設	○	○	○	○	-	○	○	□	-	□	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	○	○	○	○	-	○
原子炉格納施設	○	○	○	○	-	○	○	□	○	□	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	○	-	-	-	○
非常用電源設備	○	○	○	○	-	○	○	□	○	□	-	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○
常用電源設備																														
補助ボイラー																														
火災防護設備	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浸水防護施設	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
補機駆動用燃料設備	○	○	○	○	-	○	○	-	-	□	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
非常用取水設備	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
敷地内土木構造物																														
緊急時対策所	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○
第7, 13条への対応に必要な施設(原子炉冷却系統施設) ※	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【記号説明】 ○：条文要求に追加・変更がある。又は追加設備がある。
 -：条文の適用を受けない設備がない。

△：条文要求に追加・変更がなく、追加設備もない。
 □：保安規定等にて維持・管理が必要な追加設備がある。

※：安全避難通路、火山、外部火災、竜巻への対応に必要な設備の基本設計方針は、原子炉冷却系統施設にて整理

発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書の作成要領

1. 概要

本資料は、工事計画認可申請書（以下「工事の計画」という。）に添付書類として要求される「発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書」（以下「説明書」という。）の作成にあたっての作成要領を示す。

2. 基本方針

工事の計画が設置変更許可申請書の基本方針に従った詳細設計であることを、設置変更許可申請書との整合性により説明する。

設置変更許可申請書との整合性は、設置変更許可申請書「本文（五号）」と工事の計画のうち「基本設計方針」及び「機器等の仕様に関する記載事項」（以下「要目表」という。）について説明するとともに、設置変更許可申請書「本文（十号）」に記載する解析条件についても整合性を説明する。

また、設置変更許可申請書「添付書類八」のうち「本文（五号）」に係る設備設計を記載している箇所については、設置変更許可申請書「本文（五号）」の関連情報として記載する。

（記載例①参照）

本資料は、本工事計画の申請範囲に対する許可との整合性を示す説明書であるため、申請範囲外に関する工事の計画は記載しない。

3. 説明書の構成

(1) 説明書の構成は、下記のとおり。

- ・表紙
- ・目次
- ・概要
- ・基本方針
- ・説明書の構成
- ・発電用原子炉の設置の許可との整合性

(2) 「発電用原子炉の設置の許可との整合性」内の文章構成は設置変更許可申請書「本文（五号）」に記載された順とする。

（記載例②参照）

また、様式は比較表形式とし、左欄から設置変更許可申請書「本文（五号）」、設置変更許可申請書「添付書類八」、「工事の計画」、「整合性」及び「備考」を記載する。

なお、設置変更許可申請書「本文（十号）」については、設置変更許可申請書「本文（五号）」内の該当箇所に挿入する。

（記載例③参照）

- (3) 「工事の計画」に基本設計方針を記載する場合は、施設区分、番号及び表題を記載し、「基本設計方針」であることも記載する。

さらに、「基本設計方針」が共通項目の場合にはその旨も記載する。

（記載例④参照）

また、要目表を記載する場合は、施設区分を記載し、「要目表」であることも記載する。

（記載例⑤参照）

- (4) 設置変更許可申請書と工事の計画との整合性確認については、設置変更許可申請書「本文（五号）」と同等の「工事の計画」の記載箇所に実線のアンダーラインを引く。

（記載例⑥参照）

また、記載が異なる箇所には破線のアンダーラインを引き、「工事の計画」が設置変更許可申請書「本文（五号）」と整合していることを「整合性」欄に記載する。

（記載例⑦参照）

整合性の結果については、設置変更許可申請書「本文」の各項目（イ、ロ、ハ、…）の冒頭に整合結果を総括して記載する。

設置変更許可申請書「本文（十号）」との整合性に関する補足説明は一重枠囲みにより記載する。

（記載例⑧a参照）

また、「本文（五号）」との整合性に関する補足説明は原則として「整合性」欄に記載するが、欄外に記載する場合は別途、二重枠囲みにより記載する。

（記載例⑧b参照）

なお、整合性を説明する記載の例は表1のとおり。

- (5) 設備の兼用について整合性を説明する場合、工事の計画の欄には兼用している設備の主登録先の要目表等を記載し、設置変更許可申請書の兼用記載との整合性を示す。

（記載例⑨参照）

- (6) その他

・「基本設計方針」又は設置変更許可申請書「添付書類八」の段落の一部を抜粋する場合、「中略」と記載して抜粋であることを明示する。

(記載例⑩参照)

- ・説明書中のほかの箇所を指す場合は，設置変更許可申請書「本文」の項目をアドレスとして表示する。(例：設置変更許可申請書(本文)「ニ.(3)(ii)使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備」に示す。)

(記載例⑪参照)

- ・整合性を説明するために，記載箇所を明示する必要がある場合又は同じ段落に複数の説明箇所がある場合には，該当箇所に番号を付記する。(例：ロー①)

(記載例⑫参照)

- ・設置変更許可申請書「添付書類八」については，上記(4)において工事の計画にアンダーラインを引いた箇所について，同等の記載箇所には実線，記載が異なる箇所には破線のアンダーラインを引いて明示する。

(記載例⑬参照)

表1 整合性の記載パターン（例）

ケース	記載例
各項の整合性結果 （記載例⑭参照）	設置変更許可申請書（本文）第五号〇項において、工事の計画の内容は、以下の通り整合している。
工事の計画の記載が設置変更許可申請書（本文）の記載と同義〔同一設備又は含む〕記載となっている場合 （記載例⑮参照）	工事の計画の「〇〇」は、〔必要に応じ理由を記載〕設置変更許可申請書（本文）の「△△」〔の内容、の区分〕と同義〔同一設備〕であり〔を含んでおり、記載しており〕整合している。
設置変更許可申請書（本文）の記載を工事の計画では具体的に〔詳細に〕記載している場合 （記載例⑯参照）	工事の計画の「〇〇」は、〔必要に応じ理由を記載〕設置変更許可申請書（本文）の「△△」を具体的に〔詳細に〕記載しており整合している。
同一機器（〇〇）で設備（系統）区分が工事の計画（設備名）と設置変更許可申請書（本文）（設備名）で異なる場合 （記載例⑨参照）	「〇〇」は、設置変更許可申請書（本文）における「設備名」を工事の計画の（主たる登録として）「施設名」のうち「設備名」に整理しており整合している。
設置変更許可申請書（本文）との整合性を別の箇所で説明する場合 （記載例⑰参照）	設置変更許可申請書（本文）「□.□◇◇◇」に示す。
今回の工事の計画の対象外の事項 （記載例⑱参照）	設置変更許可申請書（本文）において許可を受けた「〇〇」は、本工事計画の対象外である。
設置変更許可申請書（本文）で詳細設計を不要としている事項 （記載例⑲参照）	設置変更許可申請書（本文）で設計上の考慮は不要としている。
単位等が異なるため、記載する数値（寸法、圧力等）が異なる場合	（計算式、単位換算等にて整合性を示す。） 外径＝内径＋板厚×2 〇〇 MPa＝△△ kg/cm ² G
運用のため保安規定で対応する事項	設置変更許可申請書（本文）の「〇〇」は、保安規定にて対応する。

発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書
(例)

目 次

	頁
1. 概要	1
2. 基本方針	1
3. 説明書の構成	1
4. 発電用原子炉の設置の許可との整合性	
五 発電用原子炉及びその附属施設の位置，構造及び設備	
● イ 発電用原子炉施設の位置	
(1) 敷地の面積及び形状	イ-1
(2) 敷地内における主要な発電用原子炉施設の位置	イ-〇
ロ 発電用原子炉施設の一般構造	
(1) 耐震構造	ロ-1
(i) 設計基準対象施設の耐震設計	
(ii) 重大事故等対処施設の耐震設計	
(2) 耐津波構造	ロ-〇
(i) 設計基準対象施設に対する耐津波設計	
(ii) 重大事故等対処施設の耐津波設計	
(iii) 重大事故等対処施設の基準津波を超え敷地に 遡上する津波の耐津波設計	
(3) その他の主要な構造	ロ-〇
(i) a. 設計基準対象施設	
b. 重大事故等対処施設	

記載例②

設置変更許可申請書の本文五号の順番に記載する。

ハ 原子炉本体の構造及び設備

- (1) 発電用原子炉の炉心……………ハ-1
 - (i) 構造
 - (ii) 燃料体の最大挿入量
 - (iii) 主要な核的制限値
 - (iv) 主要な熱的制限値
- (2) 燃料体……………ハ-〇
 - (i) 燃料材の種類
 - (ii) 燃料被覆材の種類
 - (iii) 燃料要素の構造
 - (iv) 燃料集合体の構造
 - (v) 最高燃焼度
- (3) 減速材及び反射材の種類……………ハ-〇
- (4) 原子炉容器……………ハ-〇
 - (i) 構造
 - (ii) 最高使用圧力及び最高使用温度
- (5) 放射線遮蔽体の構造……………ハ-〇
- (6) その他主要な事項……………ハ-〇

ニ 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の構造及び設備

- (1) 核燃料物質取扱設備の構造……………ニ-1
- (2) 核燃料物質貯蔵設備の構造及び貯蔵能力……………ニ-〇
 - (i) 新燃料貯蔵施設
 - (ii) 使用済燃料貯蔵施設
- (3) 核燃料物質貯蔵用冷却設備の構造及び冷却能力……………ニ-〇
 - (i) 燃料プール冷却浄化系
 - (ii) 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備

ホ 原子炉冷却系統施設の構造及び設備

- (1) 一次冷却材設備……………ホ-1
 - (i) 冷却材の種類
 - (ii) 主要な機器及び管の個数及び構造
 - (iii) 冷却材の温度及び圧力
- (2) 二次冷却設備……………ホ-〇
- (3) 非常用冷却設備……………ホ-〇
 - (i) 冷却材の種類
 - (ii) 主要な機器及び管の個数及び構造
 - a. 非常用炉心冷却系（設計基準対象施設）
 - b. 重大事故等対処設備
- (4) その他の主要な事項……………ホ-〇
 - (i) 残留熱除去系
 - (ii) 残留熱除去系海水系
 - (iii) 原子炉隔離時冷却系
 - (iv) 原子炉冷却材浄化系
 - (v) 原子炉補機冷却系
 - (vi) 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための設備

へ 計測制御系統施設の構造及び設備

- (1) 計装・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ へ-1
 - (i) 核計装の種類
 - (ii) その他の主要な計装の種類
- (2) 安全保護回路・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ へ-〇
 - (i) 原子炉停止回路の種類
 - (ii) その他の主要な安全保護回路の種類
- (3) 制御設備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ へ-〇
 - (i) 制御材の個数及び構造
 - (ii) 制御材駆動設備の個数及び構造
 - (iii) 反応度制御能力
- (4) 非常用制御設備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ へ-〇
 - (i) 制御材の個数及び構造
 - (ii) 主要な機器の個数及び構造
 - (iii) 反応度制御能力
- (5) その他の主要な事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ へ-〇
 - (i) 制御棒引抜阻止回路
 - (ii) 警報回路
 - (iii) 制御棒価値ミニマイザ
 - (iv) 再循環流量制御
 - (v) 圧力制御装置
 - (vi) 中央制御室
 - (vii) 原子炉給水制御系
 - (viii) 選択制御棒挿入機構
 - (ix) 再循環系ポンプトリップ機能
 - (x) 計装用圧縮空気系
 - (xi) 所内用圧縮空気系
 - (xii) 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための設備
 - (xiii) 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための設備

ト 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備

- (1) 気体廃棄物の廃棄施設…………… ト-1
 - (i) 構造
 - (ii) 廃棄物の処理能力
 - (iii) 排気口の位置
- (2) 液体廃棄物の廃棄設備…………… ト-〇
 - (i) 構造
 - (ii) 廃棄物の処理能力
 - (iii) 排水口の位置
- (3) 固体廃棄物の廃棄設備…………… ト-〇
 - (i) 構造
 - (ii) 廃棄物の処理能力

チ 放射線管理施設の構造及び設備

- (1) 屋内管理用の主要な設備の種類…………… チ-1
 - (i) 出入管理室(東海発電所及び東海第二
発電所と共用, 既設)
 - (ii) 資料分析関係施設
 - (iii) 放射線監視設備
 - (iv) 遮蔽設備
 - (v) 換気空調設備
- (2) 屋外管理用の主要な設備の種類…………… チ-〇

リ 原子炉格納施設の構造及び設備

- (1) 原子炉格納容器の構造…………… リ-1
- (2) 原子炉格納容器の設計圧力及び設計温度
並びに漏えい率…………… リ-〇
- (3) 非常用格納容器保護設備の構造…………… リ-〇
 - (i) 設計基準対象施設
 - (ii) 重大事故等対処設備
- (4) その他の主要な事項…………… リ-〇
 - (i) ドライウェル内ガス冷却装置
 - (ii) 原子炉建屋原子炉棟
 - (iii) 原子炉建屋常用換気系
 - (iv) 原子炉建屋ガス処理系
 - (v) 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を
防止するための設備

ヌ その他発電用原子炉の附属施設の構造及び設備

- (1) 常用電源設備の構造……………ヌ-1
 - (i) 発電機
 - (ii) 外部電源系
 - (iii) 変圧器
- (2) 非常用電源設備の構造……………ヌ-〇
 - (i) 受電系統
 - (ii) 非常用ディーゼル発電機
 - (iii) 蓄電池
 - (iv) 代替電源設備
- (3) その他の主要な事項……………ヌ-〇
 - (i) 火災防護設備
 - (ii) 浸水防護設備
 - (iii) 所内ボイラ(東海発電所及び東海第二発電所共用, 既設)
 - (iv) 補機駆動用燃料設備
 - (v) 非常用取水設備
 - (vi) 緊急時対策所
 - (vii) 通信連絡設備
 - (viii) 代替淡水貯槽
 - (ix) 西側淡水貯水設備
 - (X) 代替淡水源

1. 概要

本資料は、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」（以下「法」という。）第43条の3の8第1項の許可を受けたところによる工事の計画であることが、法第43条の3の9第3項第1号で認可基準として規定されており、当該基準に適合することを説明するものである。

2. 基本方針

工事の計画が東海第二発電所 発電用原子炉設置変更許可申請書（以下「設置変更許可申請書」という。）の基本方針に従った詳細設計であることを、設置変更許可申請書との整合性により示す。

設置変更許可申請書との整合性は、設置変更許可申請書「本文（五号）」と工事の計画のうち「基本設計方針」及び「機器等の仕様に関する記載事項」（以下「要目表」という。）について示すとともに、設置変更許可申請書「本文（十号）」に記載する解析条件についても整合性を示す。

また、設置変更許可申請書「添付書類八」のうち「本文（五号）」に係る設備設計を記載している箇所については、設置変更許可申請書「本文（五号）」の関連情報として記載する。

なお、設置変更許可申請書の基本方針に記載がなく、工事の計画において詳細設計を行う場合は、設置変更許可申請書に抵触するものでないため、本資料には記載しない。

3. 説明書の構成

(1) 説明書の構成は比較表形式とし、左欄から「設置変更許可申請書（本文）」、「設置変更許可申請書（添付書類八）」、「工事の計画」、「整合性」及び「備考」を記載する。

(2) 説明書の記載順は、設置変更許可申請書「本文（五号）」に記載する順とする。なお、「本文（十号）」については、「本文（五号）」内の該当箇所に挿入する。

(3) 設置変更許可申請書と工事の計画の記載が同等の箇所には、実線のアンダーラインで明示する。記載等が異なる場合には破線のアンダーラインを引くとともに、工事の計画が設置変更許可申請書と整合していることを明示する。

(4) 設置変更許可申請書「本文（十号）」との整合性に関する補足説明は一重枠囲みにより記載する。

設置変更許可申請書「本文（五号）」との整合性に関する補足説明は原則として「整合性」欄に記載するが、欄内に記載しきれないものについては別途、二重枠囲

みにより記載する。

- (5) 設置変更許可申請書「添付書類八」については、上記(3)において工事の計画にアンダーラインを引いた箇所について、同等の記載箇所には実線、記載が異なる箇所には破線のアンダーライン引いて明示する。

4. 発電用原子炉の設置の許可との整合性

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>五 発電用原子炉及びその附属施設の位置，構造及び設備</p> <p>イ 発電用原子炉施設の位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 発電用原子炉施設の位置の記述を以下のとおり変更する。 <p>(1) 敷地の面積及び形状</p> <p>発電用原子炉施設を設置する敷地は，東京の北方約 130 km，水戸市の東北約 15 km の地点で太平洋に面して位置し，敷地の大部分は，標高約 8m でほぼ平坦な面であり，敷地の西部には標高約 20m で平坦な面が分布する。</p> <p>なお，敷地の標高については，2011 年東北地方太平洋沖地震発生前の標高値を記載している。</p> <p>敷地内の地質は，先新第三系，新第三系及び第四系からなっている。</p> <p>東海第二発電所の敷地の広さは約 75 万 m² であり，そのうち，約 1 万 m² は国立研究開発法人日本原子力研究開発機構から土地の権利を得て発電用原子炉施設を設置する。</p> <p>記載例② 設置変更許可申請書の本文五号の順番に記載する。</p> <p>地震の発生によって生じるおそれがあるその安全機能の喪失に起因する放射線による公衆への影響の程度が特に大きい施設（以下「耐震重要施設」という。）は，その供用中に大きな影響を及ぼすおそれがある地震動（以下「基準地震動 S_s」という。）による地震力が作用した場合においても，接地圧に対する十分な支持力を有する地盤に設置する。</p> <p>また，上記に加え，基準地震動 S_s による地震力が作用することによって弱面上のずれが発生しない Y(1)-① ことを含め，基準地震動 S_s による地震力に対する支持性能を有する地盤に設置する。</p>	<p>記載例④ 各項毎に，項の冒頭に整合結果を統括して記載する。</p> <p>記載例① 本文五号の設備設計に該当する添付書類八に記載する。</p> <p>記載例④ 基本設計方針の該当番号及び表題を記載する。</p> <p>1.3.1 設計基準対象施設の耐震設計 1.3.1.1 設計基準対象施設の耐震設計の基本方針 設計基準対象施設の耐震設計は，以下の項目に従って行う。</p> <p>(3) 建物・構築物については，耐震重要度分類の各クラスに応じて算定する地震力が作用した場合においても，接地圧に対する十分な支持力を有する地盤に設置する。</p> <p>記載例③ 「工事の計画」と同等の設置変更許可申請書「添付書類八」の記載箇所に実線のアンダーライン，異なる箇所に破線のアンダーラインを引く。</p> <p>記載例⑥ 設置変更許可申請書「本文（五号）」と同等の「工事の計画」の記載箇所に実線のアンダーラインを引く。</p>	<p>記載例⑱ 今回の工事の計画の対象外の事項である場合</p> <p>記載例④ 工事の計画の該当箇所が記載されている施設区分を記載する。</p> <p>【原子炉冷却系統施設】 （基本設計方針）「共通項目」</p> <p>記載例④ 工事の計画の該当箇所が基本設計方針の場合には「（基本設計方針）」と記載する。</p> <p>1. 地盤等 1.1 地盤 設計基準対象施設のうち，地震の発生によって生じるおそれがあるその安全機能の喪失に起因する放射線による公衆への影響の程度が特に大きい施設（以下「耐震重要施設」という。）の建物・構築物，屋外重要土木構造物，津波防護施設，浸水防止設備及び津波監視設備並びに浸水防止設備又は津波監視設備が設置された建物・構築物について，若しくは，重大事故等対処施設のうち，常設耐震重要重大事故防止設備又は常設重大事故緩和設備が設置される重大事故等対処施設については，自重や運転時の荷重等に加え，その供用中に大きな影響を及ぼすおそれがある地震動（以下「基準地震動 S_s」という。）による地震力が作用した場合においても接地圧に対する十分な支持力を有する地盤に設置する。</p> <p>また，上記に加え，基準地震動 S_s による地震力が作用することによって弱面上のずれが発生しない Y(1)-① 地盤として，設置（変更）許可を受けた地盤に設置する。</p> <p>ここで，屋外重要土木構造物とは，耐震安全上重要な機器・配管系の間接支持機能，若しくは非常時における海水の通水機能を求められる土木構造物をいう。</p>	<p>設置変更許可申請書（本文）第五号イ項において，工事の計画の内容は，以下の通り整合している。</p> <p>設置変更許可申請書（本文）において許可を受けた「敷地の面積及び形状」は，本工事計画の対象外である。</p> <p>工事の計画の Y(1)-① は，設置変更許可申請書（本文）の Y(1)-① と同義であり整合している。</p> <p>記載例⑳ 工事の計画が設置変更許可申請書の記載と異なるが，同義である場合</p>	

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>記載例⑫ 整合性を説明するために記載箇所を明示する必要がある場合には番号を付記する。</p> <p>b. 格納容器スプレイ冷却系 リ(3)(i)b.-①再循環回路の破断のような原子炉冷却材喪失時に、サブプレッション・チェンバのプール水を熱交換器（原子炉停止時冷却系と同じ熱交換器を使用する。）で冷却し、ドライウエル及びサブプレッション・チェンバ内にスプレイすることによって、原子炉格納容器内の温度及び圧力上昇を防止する。リ(3)(i)b.-②なお、熱交換器の冷却水には海水を使用する。</p> <p>記載例⑦ 記載が異なる箇所には破線のアンダーラインを引き、「工事の計画」が設置変更許可申請書「本文（五号）」と整合していることを「整合性」欄に記載する。</p>	<p>9.1.1.4.1.4 格納容器スプレイ冷却系 格納容器スプレイ冷却系は、冷却材喪失事故後、サブプレッション・チェンバ内のプール水をドライウエル内及びサブプレッション・チェンバ内に、スプレイすることによって、原子炉格納容器内の温度、圧力を低減し、原子炉格納容器内に浮遊している放射性物質が漏えいするのを抑えるものである。ドライウエル内にスプレイされた水は、水位がベント管口に達した後はベント管を通過して、サブプレッション・チェンバ内に戻り、サブプレッション・チェンバ内にスプレイされた水とともに、残留熱除去系の熱交換器で冷却された後、再びスプレイされる。 <中略> この熱交換器は、残留熱除去系海水系ポンプによって、直接海水で冷却される。 <中略></p> <p>記載例⑩ 段落の一部記載を抜粋する場合、<中略>と記載する。</p>	<p>【原子炉格納施設】（基本設計方針）</p> <p>3.2 原子炉格納容器安全設備 3.2.1 格納容器スプレイ冷却系 リ(3)(i)b.-①原子炉冷却系統に係る発電用原子炉施設の損壊又は故障の際に生ずる原子炉格納容器内の圧力及び温度の上昇により原子炉格納容器の安全性を損なうことを防止するため、原子炉格納容器内において発生した熱を除去する設備として、残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却系）を設ける。 リ(3)(i)b.-①残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却系）は、原子炉冷却材圧力バウンダリ配管の最も過酷な破断を想定した場合でも、放出されるエネルギーによる設計基準事故時の原子炉格納容器内圧力、温度が最高使用圧力、最高使用温度を超えないようにし、かつ、原子炉格納容器の内圧を速やかに下げて低く維持することにより、放射性物質の外部への漏えいを少なくする設計とする。 <中略> リ(3)(i)b.-①残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却系）は、原子炉冷却材喪失事故時に、サブプレッション・チェンバのプール水をドライウエル内及びサブプレッション・チェンバ内にスプレイすることにより、環境に放出される放射性物質の濃度を減少させる設計とする。 <中略></p> <p>【原子炉冷却系統施設】（基本設計方針）</p> <p>7. 原子炉補機冷却設備 7.1 残留熱除去系海水系 (1) 系統構成 <中略> リ(3)(i)b.-②残留熱除去系海水系は、残留熱除去系海水系ポンプを設置し残留熱除去系熱交換器に冷却用海水を供給することにより、非常時に動的機器の単一故障及び外部電源喪失を仮定した場合でも、残留熱除去設備、非常用炉心冷却設備等の機器から発生する熱を最終的な熱の逃がし場である海へ輸送が可能な設計とする。 <中略></p>	<p>工事の計画のリ(3)(i)b.-①は、設置変更許可申請書（本文）のリ(3)(i)b.-①を具体的に記載しており整合している。</p> <p>記載例⑯ 工事の計画が設置変更許可申請書の記載を具体的に記載している場合</p> <p>工事の計画のリ(3)(i)b.-②は、設置変更許可申請書（本文）のリ(3)(i)b.-②と同義であり整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																																											
<p>[常設重大事故等対処設備] 常設低圧代替注水系ポンプ</p> <p>□(3)(ii)b.-①（「原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備」、「原子炉格納容器内の冷却等のための設備」、「原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための設備」及び「使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備」と兼用）</p> <table border="1"> <tr><td>個数</td><td>2</td></tr> <tr><td>容量</td><td>約 200m³/h/個</td></tr> <tr><td>全揚程</td><td>約 200m</td></tr> </table> <p>（本文十号） 低圧代替注水系（常設）による原子炉注水流量 378m³/h （原子炉注水と格納容器スプレイを同時に実施する場合は、230m³/hにて原子炉へ注水）</p> <ul style="list-style-type: none"> 記載箇所 <ul style="list-style-type: none"> ハ(2)(ii)b.(a)(a-7) ハ(2)(ii)b.(d)(d-1)(d-1-7) ハ(2)(ii)b.(d)(d-2)(d-2-9) ハ(2)(ii)b.(f)(f-6) ハ(2)(ii)b.(g)(g-7) ハc.(a)(a-1)(a-1-8) ハc.(a)(a-2)(a-2-8) 	個数	2	容量	約 200m ³ /h/個	全揚程	約 200m	<p>(1) 常設低圧代替注水系ポンプ 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備 原子炉格納容器内の冷却等のための設備 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための設備 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備 <table border="1"> <tr><td>型式</td><td>ターボ形</td></tr> <tr><td>個数</td><td>2</td></tr> <tr><td>容量</td><td>約 200m³/h/個</td></tr> <tr><td>全揚程</td><td>約 200m</td></tr> <tr><td>最高使用圧力</td><td>3.14MPa [gage]</td></tr> <tr><td>最高使用温度</td><td>66℃</td></tr> <tr><td>材料</td><td>炭素鋼</td></tr> </table>	型式	ターボ形	個数	2	容量	約 200m ³ /h/個	全揚程	約 200m	最高使用圧力	3.14MPa [gage]	最高使用温度	66℃	材料	炭素鋼	<p>【原子炉冷却系統施設】（要目表）</p> <p>6.7 低圧代替注水系 (1) ポンプの名称、種類、容量、揚程、又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">種</td> <td>種</td> <td></td> <td>ターボ形</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">容</td> <td>量^{*2}</td> <td>m³/h/個</td> <td>189以上^{*2} 150以上^{*2} 80以上^{*2} 50以上^{*2} 70以上^{*2} 180以上^{*2} 190以上^{*2} 147以上^{*2} (200^{*2})</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">揚</td> <td>程^{*2}</td> <td>m</td> <td>107以上^{*2} 123以上^{*2} 111以上^{*2} 68以上^{*2} 112以上^{*2} 147以上^{*2} 131以上^{*2} 114以上^{*2} (200^{*2})</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力^{*2}</td> <td>MPa</td> <td>吸込側 静水頭 吐出側 3.14</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度^{*2}</td> <td>℃</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主</td> <td>吸込内径</td> <td>mm</td> <td>199.9^{*11}</td> </tr> <tr> <td>吐出内径</td> <td>mm</td> <td>151.0^{*11}</td> </tr> <tr> <td>ケーシング厚さ</td> <td>mm</td> <td>(55.0^{*11})</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>860^{*11}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2291^{*11}</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1520^{*11}</td> </tr> <tr> <td>ケーシング</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カ</td> <td>ケーシング</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バ</td> <td>カバー</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（続き）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">個数</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">ボ</td> <td>取</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>付</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>常設低圧代替注水系ポンプA 低圧代替注水系</td> </tr> <tr> <td>所</td> <td>設置床</td> <td>常設低圧代替注水系ポンプ室 EL.-18.50 m</td> </tr> <tr> <td>所</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>常設低圧代替注水系ポンプ室 EL.-18.50 m</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原</td> <td>種</td> <td></td> <td>誘導電動機</td> </tr> <tr> <td>出</td> <td>力 kW/個</td> <td>190^{*11}</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td>数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>取</td> <td>付箇所</td> <td></td> <td>ポンプと同じ</td> </tr> </tbody> </table> <p>主記 *1: 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）、原子炉格納施設のうち圧力低減設備以外の安全設備の原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系、格納容器下部注水系及び低圧代替注水系）並びに核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（代替燃料ポンプ注水系）と兼用する。 *2: 重大事故等時における使用時の値を示す。</p>	名称		変更前	変更後	種	種		ターボ形	類			容	量 ^{*2}	m ³ /h/個	189以上 ^{*2} 150以上 ^{*2} 80以上 ^{*2} 50以上 ^{*2} 70以上 ^{*2} 180以上 ^{*2} 190以上 ^{*2} 147以上 ^{*2} (200 ^{*2})	揚	程 ^{*2}	m	107以上 ^{*2} 123以上 ^{*2} 111以上 ^{*2} 68以上 ^{*2} 112以上 ^{*2} 147以上 ^{*2} 131以上 ^{*2} 114以上 ^{*2} (200 ^{*2})	最高使用圧力 ^{*2}	MPa	吸込側 静水頭 吐出側 3.14	最高使用温度 ^{*2}	℃	66	主	吸込内径	mm	199.9 ^{*11}	吐出内径	mm	151.0 ^{*11}	ケーシング厚さ	mm	(55.0 ^{*11})	たて	mm	860 ^{*11}	横	mm	2291 ^{*11}	材	高さ	mm	1520 ^{*11}	ケーシング	-		カ	ケーシング	-		バ	カバー	-		個数		変更前	変更後	ボ	取		2	付	系統名 (ライン名)	常設低圧代替注水系ポンプA 低圧代替注水系	所	設置床	常設低圧代替注水系ポンプ室 EL.-18.50 m	所	溢水防護上の区画番号	常設低圧代替注水系ポンプ室 EL.-18.50 m	原	種		誘導電動機	出	力 kW/個	190 ^{*11}	個	数	2	取	付箇所		ポンプと同じ	<p>記載例⑤ 工事の計画の該当箇所が要目表の場合には「(要目表)」と記載する。</p> <p>記載例⑤ 工事の計画の該当箇所が記載されている施設区分を記載する。</p> <p>「常設低圧代替注水系ポンプ」は、設置変更許可申請書（本文）における□(3)(ii)b.-①を工事の計画における主たる登録として「原子炉冷却系統施設」のうち「非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備」に整理しており整合している。</p> <p>記載例⑨ 同一機器で設備（系統）区分が工事の計画と設置変更許可申請書（本文）で異なる場合</p>	<p>記載例③ 本文十号については、「本文五号」に該当する箇所に挿入する。</p> <p>記載例⑧a 設置変更許可申請書「本文（十号）」との整合性に関する補足説明は一重枠囲みにより記載する。</p>
個数	2																																																																																																														
容量	約 200m ³ /h/個																																																																																																														
全揚程	約 200m																																																																																																														
型式	ターボ形																																																																																																														
個数	2																																																																																																														
容量	約 200m ³ /h/個																																																																																																														
全揚程	約 200m																																																																																																														
最高使用圧力	3.14MPa [gage]																																																																																																														
最高使用温度	66℃																																																																																																														
材料	炭素鋼																																																																																																														
名称		変更前	変更後																																																																																																												
種	種		ターボ形																																																																																																												
	類																																																																																																														
容	量 ^{*2}	m ³ /h/個	189以上 ^{*2} 150以上 ^{*2} 80以上 ^{*2} 50以上 ^{*2} 70以上 ^{*2} 180以上 ^{*2} 190以上 ^{*2} 147以上 ^{*2} (200 ^{*2})																																																																																																												
	揚	程 ^{*2}	m	107以上 ^{*2} 123以上 ^{*2} 111以上 ^{*2} 68以上 ^{*2} 112以上 ^{*2} 147以上 ^{*2} 131以上 ^{*2} 114以上 ^{*2} (200 ^{*2})																																																																																																											
		最高使用圧力 ^{*2}	MPa	吸込側 静水頭 吐出側 3.14																																																																																																											
		最高使用温度 ^{*2}	℃	66																																																																																																											
		主	吸込内径	mm	199.9 ^{*11}																																																																																																										
			吐出内径	mm	151.0 ^{*11}																																																																																																										
			ケーシング厚さ	mm	(55.0 ^{*11})																																																																																																										
			たて	mm	860 ^{*11}																																																																																																										
			横	mm	2291 ^{*11}																																																																																																										
		材	高さ	mm	1520 ^{*11}																																																																																																										
ケーシング			-																																																																																																												
カ	ケーシング	-																																																																																																													
バ	カバー	-																																																																																																													
個数		変更前	変更後																																																																																																												
ボ	取		2																																																																																																												
	付	系統名 (ライン名)	常設低圧代替注水系ポンプA 低圧代替注水系																																																																																																												
	所	設置床	常設低圧代替注水系ポンプ室 EL.-18.50 m																																																																																																												
	所	溢水防護上の区画番号	常設低圧代替注水系ポンプ室 EL.-18.50 m																																																																																																												
原	種		誘導電動機																																																																																																												
	出	力 kW/個	190 ^{*11}																																																																																																												
	個	数	2																																																																																																												
	取	付箇所		ポンプと同じ																																																																																																											

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>(n) 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備</p> <p>使用済燃料プールの冷却機能又は注水機能が喪失し、又は使用済燃料プールからの水の漏えいその他の要因により当該使用済燃料プールの水位が低下した場合において、使用済燃料プール内の燃料集合体等を冷却し、放射線を遮蔽し、及び臨界を防止するために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p> <p>使用済燃料プールからの大量の水の漏えいその他の要因により使用済燃料プールの水位が異常に低下した場合において、使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷の進行を緩和し、及び臨界を防止するために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p>	<p>（使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備） 適合のための設計方針</p> <p>使用済燃料プールの冷却機能又は注水機能が喪失し、又は使用済燃料プールからの水の漏えいその他の要因により当該使用済燃料プールの水位が低下した場合において、使用済燃料プール内の燃料体等を冷却し、放射線を遮蔽し、及び臨界を防止するために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p> <p>使用済燃料プールからの大量の水の漏えいその他の要因により使用済燃料プールの水位が異常に低下した場合において、使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷の進行を緩和し、及び臨界を防止するために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p>記載例⑩ 説明書中の他の箇所を指す場合は、設置変更許可申請書「本文」の項目をアドレスとして表示する。</p> <p>記載例⑪ 設置変更許可申請書（本文）との整合性を別の箇所で説明する場合</p>	<p>設置変更許可申請書 ●（本文）「二(3)(ii) 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備」に示す。</p>	
<p>(o) 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備</p> <p>炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損又は使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷に至った場合において、発電所外への放射性物質の拡散を抑制するために必要な重大事故等対処設備を保管する。</p>	<p>（工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための設備） 適合のための設計方針</p> <p>炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損又は使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷に至った場合において、発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備として、放水設備及び汚濁防止膜を設ける。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>		<p>設置変更許可申請書 （本文）「リ(3)(ii)e. 発電所外への放射線物質の拡散を抑制するための設備」に示す。</p>	
<p>(p) 重大事故等の収束に必要な水の供給設備</p> <p>設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要な十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p>	<p>（重大事故等の収束に必要な水の供給設備） 適合のための設計方針</p> <p>重大事故等の収束に必要な水を有する水源を確保するとともに、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な水を供給するための重大事故等対処設備として、代替淡水貯槽、西側淡水貯水設備、サプレッション・プール、ほう酸水貯蔵タンク、水の補給設備及び注水の必要な箇所への供給設備を設ける。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>		<p>設置変更許可申請書 （本文）「二(3)(ii)f. 重大事故等の収束に必要な水の供給設備」に示す。</p>	

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>(3) その他の主要な構造</p> <p>(i) 本発電用原子炉施設は、(1)耐震構造、(2)耐津波構造に加え、以下の基本的方針のもとに安全設計を行う。</p> <p>a. 設計基準対象施設</p> <p>(a) 外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>☐(3)(i)a.(a)-①安全施設は、発電所敷地で想定される洪水、風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び高潮の自然現象（地震及び津波を除く。）又はその組合せに遭遇した場合において、自然現象そのものがもたらす環境条件及びその結果として施設で生じ得る環境条件においても☐(3)(i)a.(a)-②安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>なお、発電所敷地で想定される自然現象のうち、洪水については、立地的要因により設計上考慮する必要はない。</p> <p>上記に加え、☐(3)(i)a.(a)-③重要安全施設は、科学的技術的知見を踏まえ、☐(3)(i)a.(a)-③当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると想定される自然現象により☐(3)(i)a.(a)-③当該重要安全施設に作用する☐(3)(i)a.(a)-④衝撃及び設計基準事故時に生じる応力について、それぞれの因果関係及び時間的変化を考慮して適切に組み合わせる。</p>	<p>1.1 安全設計の方針</p> <p>1.1.1 安全設計の基本方針</p> <p>1.1.1.4 外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>発電所敷地で想定される自然現象（地震及び津波を除く。）については、網羅的に抽出するために、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき事象を収集し、洪水、風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災等を考慮する。また、これらの自然現象について関連して発生する自然現象も含める。これらの事象について、海外の評価基準を考慮の上、発電所及びその周辺での発生の可能性、安全施設への影響度、発電所敷地及びその周辺に到達するまでの時間余裕及び影響の包絡性の観点から、発電用原子炉施設に影響を与えるおそれがある事象として、洪水、風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び高潮を選定する。</p> <p>安全施設は、これらの自然現象（地震及び津波を除く。）又はその組合せに遭遇した場合において、自然現象そのものがもたらす環境条件及びその結果として施設で生じ得る環境条件においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>なお、発電所敷地で想定される自然現象のうち、洪水については、立地的要因により設計上考慮する必要はない。</p>	<p>【原子炉冷却系統施設】 （基本設計方針）「共通項目」</p> <p>2. 自然現象</p> <p>2.3 外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>☐(3)(i)a.(a)-①設計基準対象施設は、外部からの衝撃のうち自然現象による損傷の防止において、発電所敷地で想定される風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び高潮の自然現象（地震及び津波を除く。）又は地震及び津波を含む自然現象の組合せに遭遇した場合において、自然現象そのものがもたらす環境条件及びその結果として施設で生じ得る環境条件において、☐(3)(i)a.(a)-②その安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置、基礎地盤の改良その他、供用中における運転管理等の運用上の適切な措置を講じる。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>記載例⑱ 設置変更許可申請書（本文）で 詳細設計を不要としている事項 の場合</p> </div> <p>2.3.1 外部からの衝撃より防護すべき施設</p> <p>設計基準対象施設が外部からの衝撃によりその安全性を損なうことがないよう、外部からの衝撃より防護すべき施設は、設計基準対象施設のうち、☐(3)(i)a.(a)-③「発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針」で規定されているクラス1、クラス2及び安全評価上その機能に期待するクラス3に属する構築物、系統及び機器（以下「外部事象防護対象施設」という。）とする。また、外部事象防護対象施設の防護設計については、外部からの衝撃により外部事象防護対象施設に波及的影響を及ぼすおそれのある外部事象防護対象施設以外の施設についても考慮する。さらに、重大事故等対処設備についても、外部からの衝撃より防護すべき施設に含める。</p> <p>☐(3)(i)a.(a)-③-1 上記以外の設計基準対象施設については、☐(3)(i)a.(a)-③-2 機能を維持すること若しくは損傷を考慮して代替設備により必要な機能を確保すること、安全上支障のない期間での修復等の対応を行うこと又はそれらを適切に組み合わせることにより、その安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>工事の計画の☐(3)(i)a.(a)-①の「設計基準対象施設」は、設置変更許可申請書（本文）の☐(3)(i)a.(a)-①の「安全施設」を含んでおり整合している。</p> <p>工事の計画の☐(3)(i)a.(a)-②は、設置変更許可申請書（本文）の☐(3)(i)a.(a)-②を具体的に記載しており整合している。</p> <p>☐(3)(i)a.(a)-③-2の「上記以外の設計基準対象施設」の設計は、☐(3)(i)a.(a)-②の「安全施設」を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設置変更許可申請書で設計上の考慮を不要としている。</p>	

記載例⑧b
設置変更許可申請書「本文（五号）」との整合性に関する説明を整合性の欄外に記載する場合は、二重枠囲みにより記載する。

整合性
工事の計画の☐(3)(i)a.(a)-③の「外部事象防護対象施設」及び☐(3)(i)a.(a)-③-1の「上記以外の設計基準対象施設」は、設置変更許可申請書（本文）の☐(3)(i)a.(a)-①の「安全施設」を示している。

8 共用設備の工認書類の扱いについて

1. 要旨

共用設備の工認書類への記載方針について以下に纏める。

2. 記載方法

2.1 要目表への記載

「共用設備」の名称、仕様等の表記方法については、「2 工事計画認可申請における要目表の作成要領」に従う。

2.2 基本設計方針への記載

- (1) 「要目表対象設備」を「基本設計方針」へ記載する場合の表記方法は「2 工事計画認可申請における要目表の作成要領」に従う。

(例)

東海，東海第二発電所共用の設備を基本設計方針に記載する場合
「●●ポンプ（東海，東海第二発電所共用）」

- (2) 「基本設計方針にのみ記載する設備」は，要目表と記載を整合させるため，原則として，要目表の記載ルールに従う。具体的な記載ルールは以下のとおり。

a. 「常設設備」の記載について

- (a) 東海第二発電所常設設備の場合は，「(東海，東海第二発電所共用)」と記載する。
さらに，申請する発電所と設備を設置している発電所が異なる場合は，設置場所を明確化するために「(東海，東海第二発電所共用，東海●●発電所に設置)」と記載する。

b. 可搬型設備の記載について

東海第二発電所可搬型設備の場合は，「(東海，東海第二発電所共用)」と記載する。
さらに，保管場所を明確化するために設備を保管する発電所を記載する。

【基本的な記載パターン】

可搬型計測器（東海，東海第二発電所共用，東海●●発電所に保管）

↑
「共用する発電所」

↑
「設備を保管する発電所」

(3) 文章中に同じ設備が複数回登場する場合の記載について

- a. 文章中に同じ設備が複数回登場するものについては、「初めて」文章中に登場した箇所にも「共用」の記載をし、その後の文章に登場する箇所については「共用」の記載を行わない。

また、初めて登場する「共用」の記載には「(以下同じ。)」を付記して、それ以降の文章では「共用」の記載が繰り返し登場しないことを示す。なお、この「繰り返し登場しないこと」を示す記載は、施設単位で有効とする。

(例) 原子炉冷却系統施設

△△ポンプ(東海, 東海第二発電所共用(以下同じ。))は, □□として使用する。なお, △△ポンプの設置数は…

(4) 識別のために記載する特殊な例

- a. 設備仕様を明確にするための情報(個数, 計測範囲等)等を記載する必要があるものは, それらの情報を「共用」の後に記載する。

(例)

可搬型計測器(「東海, 東海第二発電所共用, 東海●●発電所に保管」(個数△(予備▲), 計測範囲***~*** mSv/h))

2.3 適用基準及び適用規格

適用基準及び適用規格については, 東海, 東海第二発電所共用であることを踏まえて, 東海, 東海第二発電所共用設備に適用する基準/規格は, 東海第二発電所で同じ基準及び規格を記載する。

2.4 設計及び工事の品質管理に係わる方法等に関する事項

設計及び工事に関する事項であり, 東海, 東海第二発電所共用である設備は, 東海第二発電所の設計及び工事の品質管理に係る方法等に関する事項を記載する。

2.5 添付書類

添付書類への「共用設備」の表記方法は, 原則として, 要目表及び基本設計方針と同じ記載方法とする。

但し, 設備が設置される建屋(基礎含む)や配置に評価が依存する「V-2 耐震性に関する説明書」及び「V-1-1-6 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下におけ

る健全性に関する説明書」については、「共用」の有無によって評価結果が左右されないことから、資料中に登場する設備名称に「共用」の記載は行わないものとする。

3. 添付図面の添付方針について

添付図面に記載する発電所は、本文（要目表，基本設計方針）を参考に記載する。

3.1 各施設の個別図面について

- ・要目表に記載する設備の添付図面の添付方針は、「7 工事計画認可申請における添付図面の作成要領」に従うものとする。